令和４年度事業実績

１　利用者の状況

（１）施設区分・年度別利用者数

（単位：人）

年度	平成29	平成30	令和元	令和２	令和３	令和４
ホール　※4	111,659	122,060	95,272	18,866	37,897	0
多目的プラザ	26,894	26,328	21,313	7,574	13,416	13,694
練習室	25,041	20,844	13,540	4,360	7,887	4,806
科学体験室（厚木）※1	950	541	1,204	338	648	1,628
研修室	7,565	9,708	7,024	1,217	2,060	3,439
屋上(星空教室、高校生天文講座、天文研究クラブ)	591	797	597	281	528	453
演劇資料室	2,475	2,988	2,445	1,129	1,566	1,627
子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）　面接相談	1,179	1,124	726	85	157	149
青少年サポートプラザ　※2	4,836	5,381	3,456	329	363	1,381
（登録団体による研修室利用）	(483)	(359)	(95)	(3)		
計　(a)	181,190	189,771	145,577	34,179	64,522	27,177
県西部青少年サポート相談室面接相談	73	79	78	84	92	90
神奈川県地域青少年相談窓口面接相談	73	64	110	92	98	52
合　　計	181,336	189,914	145,765	34,355	64,712	27,319
学校、市役所、公民館、野外施設など当センター以外での事業参加者	11,020	9,347	7,483	1,070	1,070	2,424

※１　科学体験室は、平成 30 年 10 月に、科学部移転に伴い、厚木市に移転した。
　　人数は科学体験室での講座受講者数。

※２　平成 26 年 3 月末に別館の青少年サポートプラザを閉館し、本館に移設した。

※３　令和４年度は、ホール天井改修工事のため休館した。

（２）施設利用者の内訳

児童・生徒（小学生～高校生）	一　般	合　計
6,398	15,541	21,939

（注）　面接相談、青少年サポートプラザ利用者、演劇資料室及び他の施設利用者数は、生徒・一般の区分は設けていないため、内訳集計から除いている。

２　事業の実施状況

（１）全館的事業

青少年センターの事業を円滑に運営するため庁舎諸施設の維持管理、人事、財産、予算経理等の管理事務及び県下に広く青少年センターの事業を周知するための広報活動事業を実施した。

ア　広報活動事業

㈦ 行事紹介チラシの配布

青少年センターの行う事業を青少年・一般県民に広く周知し、利用促進を図るため、各課が作成した広報資料（印刷物）を同封し、全館広報として配布した。

「青少年センターのお知らせ」チラシ・ポスターについては、令和４年５月号、７月号、10 月号、12 月号を作成し配布した。

全館広報の配布月	配布先
５月、７月、10 月、12 月(年４回)	児童施設、図書館、小･中･高校、公共施設等、本庁、県出先機関、銀行、市町村、報道機関等

㈠ フェイスブックを用いた情報の発信

近年のソーシャルメディアの普及に伴い、新たな媒体を活用した積極的な情報の発信を行うことで、従来の利用者のみならず、新たな利用者層を開拓することを目的に、フェイスブックページを開設した。

開設日　：平成 27 年 2 月 21 日
アドレス：https://www.facebook.com/kanagawa0230

イ　青少年センター子どもフェスティバル

開催日　：1 月 29 日(日)

（２）青少年の体験学習を推進する人材の育成

人材の育成事業として、地域で青少年の支援・指導に関わる方や青少年行政・施設関係職員、そして青少年に関わる活動をしている若者を対象とした研修を実施した。研修にあたっては、自然体験、野外活動、環境学習等の多様な体験や群れ遊びの実践、そして仲間づくり・グループづくりに効果的なアイスブレイキングや様々なグループワークの体験、また、若者を対象とした研修では、実際に青少年センター事業である「子どもフェスティバル」や子どもキャンプの企画づくりをし、運営するなど、活動に必要となる知識・技術を参加者自身が実践的・体験的に身につけ、参加する中で横のつながりを築くこともできる内容とした。

また、神奈川県青少年指導者養成協議会を運営し、県・市町村・青少年関係団体の連携を図るとともに、団体等への活動支援として協働での事業開催や講師派遣、青少年支援・指導者のための「自然体験活動虎の巻」を作成し、ホームページで公開した。

区分	事業名	概　　要	対象者	参加者延べ数
ア　青少年支援・指導者育成推進事業（※中止はすべて新型コロナウイルスの感染拡大防止のため）				
(ｱ) 青少年支援・指導者の育成	青少年指導員セミナー	地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定。（全４回）	青少年指導員	159人
	自然体験活動指導者セミナー	県内のフィールドを活用し、安全で楽しい野外活動を展開するために必要とされる基礎的な知識や技術を学んだ。（日帰り２回＋１泊２日１回）	青少年支援・指導者、教員、学生等	53 人
	体験学習プログラムセミナー	子ども・若者のコミュニケーション能力や生き抜く力の向上をめざし、コミュニケーションの技法やアイスブレイキング等の多様な体験やワークショップを通して、青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図った。（日帰り７回）	青少年支援・指導者、教員、学生等	109人
	人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」	指導者育成課の研修受講生を対象に、市町村や協力団体の実施する事業に講師として派遣し、実際の現場での指導を通して、知識や技能のスキルアップをはかる機会を提供した。	青少年センター研修受講生	119人
	リードアップセミナー	新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な業務遂行に必要な基礎的知識と技能の向上、お互いのネットワークづくりを図った。（日帰り２回＋１泊２日１回）	新転入青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	57人
	フォローアップセミナー	青少年行政等に関わる職員が効果的な業務の遂行に必要な能力の向上・知識技術の習得・ネットワーク化・情報交換の活発化を図った。（日帰り３回）	青少年行政関係職員、青少年関係団体職員等	49人
	子ども施設指導員セミナー	子ども施設（児童館等）の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図った。（日帰り７回）	青少年育成施設及び類似施設の職員	166人

区分		事業名	概　　要	対象者	参加者延べ数
		イベントボランティアセミナー	イベントの企画・運営方法を学び、実際に「青少年センター子ども体験広場」の企画・運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指した。（日帰り６回）	ジュニア・リーダーや子どもと関わりのある高校生から大学生年代までの若者	115人
		キャンプ活動セミナー	レクリエーションや野外活動を通して、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を学んだ。（１泊２日１回）	子どもと関わりのあるまたは関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人（30歳未満）	15人
		子どもキャンププロジェクト	子ども対象のキャンプの企画・運営を体験し、子どもとの人間関係づくりや子どもとの関わり方を体験的に学んだ。（日帰り５回＋２泊３日１回）	子どもと関わりのあるまたは関わろうとしている学生、子ども施設の職員等社会人（30歳未満）	61人
		ユースボランティアセミナー	地域で活動しているジュニア･リーダーや、青少年施設、子ども施設の職員等の社会人（30歳未満）を対象に、様々な体験を通して、野外活動、レクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図った。（日帰り１回、１泊２日１回）	中学生以上のジュニア・リーダーや子どもと関わりのあるまたは関わろうとしている学生や社会人（30歳未満）	21人
		インターンシップ、社会体験研修受入れ等	現職教員の社会体験研修を１人（延べ２回）、大学生の社会教育実習を１人（延べ７回）受け入れ、青少年支援・指導に通じた人材の育成を図った。	教職員、学生等	９人
	（ｲ）青少年育成のための実践的調査研究	活動に役に立つマニュアル・手引作成	青少年活動に役立つマニュアル・手引を作成する。 青少年の体験活動を支援する大人向け、 初心者向けのWebページ「自然体験活動　虎の巻」を作成した。	－	－
	（ｳ）青少年支援・指導者、団体等への支援	青少年資料室の運営	青少年に関わる文献・資料・報告書等を整備して、青少年資料室を効率的に運営する。活動場所等についての情報を収集し、青少年支援・指導者及び青少年関係機関等への情報提供を図った。	－	－

区分	事業名	概　　要	対象者	参加者延べ数
	調査・ アンケート実施	全研修事業の終了時に行っているアンケートから事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、当課研修事業で学んだことを、業務でどのように活用しているかについてまとめ、研修事業実施報告書に記載し青少年関係機関へ提供した。	－	－
	活動支援	青少年関係機関等からの依頼に応じて、場の提供、講師･指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導を随時行った。	青少年関係機関	講師紹介等　１件 職員派遣　８人
(ｴ)青少年指導者養成推進事業	青少年指導者養成連携・調整(神奈川県青少年指導者養成協議会事業)	青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進を図るとともに、県・市町村・青少年団体の連携強化を図った。	協議会関係者	185人
	青少年支援・指導者活動状況調査	各機関や団体が把握している青少年支援・指導者の活動状況について調査した。	県・市町村・青少年関係団体	－
	青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査	各機関や団体が把握している青少年支援・指導者育成事業の取り組み状況、次年度計画等について具体的に調査した。	県・市町村・青少年関係団体	－
イ　地域活動推進事業				
(ｱ)子ども会大会	子ども会大会	子ども会活動の発展に資することを目的として県子ども会大会を開催した。（日帰り１回）	子ども会関係者、一般	540人
(ｲ)元気な子ども・若者の地域活動調査事業	元気な子ども・若者の地域活動調査事業	人間関係の希薄化、地域力の低下、ライフスタイルの変化等に伴う、新たな課題に対応した子ども・若者に関わる地域活動について､先進的な事例を取材･調査し、その成果を広報誌「子ども会」を作成・３月に発行して広く周知した。また、指導者・育成者、リーダー層の研修事業等で活用した。	ジュニア、シニア・リーダー等の高校生以上の若者	22人
(ｳ)地域活性化事業（市町村・団体協働事業）	地域活性化事業（市町村・団体協働事業）	地域で行っている青少年活動の活性化を図るために、団体と協働で研修を実施した。 「子ども会　ちょっといい話」（大和市子ども会連絡協議会） アイスブレイク研修（藤沢市青少年指導員協議会）	子ども会指導者、子ども会役員、青少年指導員、ジュニア・リーダー	148人
ウ　青少年行政総合推進事業				
(ｱ)中学生の主張　in かながわ	中学生の主張 in かながわ	次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行った。	県内在住又は在学の中学生	応募者 685人

区分	事業名	概　　要	対象者	参加者延べ数
(ｲ)子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者を理解するための講演会	子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取組みの促進を図るため講演会を開催した。	県民	34人
(ｳ) 困難事例における専門家の助言指導	困難事例における専門家の助言指導	電話あるいは来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を実施した。	当センター専門相談員、ＮＰＯ法人等相談担当者	３回

各事業の内容は次のとおりである。

ア　青少年支援・指導者育成推進事業

(ｱ) 青少年支援・指導者の育成

a　青少年指導員セミナー

テーマ「青少年指導員の役割と青少年との接し方」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	５月 21 日(土) 小田原合同庁舎	担当：指導者育成課職員	35 人
2	５月28日(土) 海老名市文化会館	担当：指導者育成課職員	32 人
3	市町ごとに録画視聴	担当：指導者育成課職員	58 人
4	６月18日(土) 横須賀合同庁舎	担当：指導者育成課職員	34人

b　自然体験活動指導者セミナー

①　野外活動編

テーマ「まるっと体験　キャンプのいろは」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	６月11日(土) 川崎市黒川青少年 野外活動センター	プログラム体験「コロナ禍でもできるアイスブレイキングゲーム」 「ドラム缶ピザづくり」「自然体験ゲーム」 「キャンプファイヤー体験」 講師：佐久間　純恵　氏 (Bring Out the Best)	23 人

②　秋編

テーマ「How to 自然遊び～自然体験指導とその手法～」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月19日(土) ～20日(日) 愛川ふれあいの村	プログラム体験「アイスブレイキングゲーム」「自然体験プログラム」 「ナイトアクティビティ体験」 「自然体験プログラム指導体験」 講師：野口　和行　氏 (慶應義塾大学　教授)	６人

③　環境学習編

テーマ「Growing Up Wild エデュケーター養成講座」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	12月４日(日) 青少年センター	講義「プログラムの組み立てと流れ」 プログラム体験「アイスブレイキング体験」 「Growing Up Wildのアクティビティ体験」 講師：関　隆嗣　氏 (すぎなみPW＋)	24 人

c　体験学習プログラムセミナー

①　テーマ「すぐに役立つアイスブレイキング」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	７月24日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキングの指導体験」 担当：指導者育成課職員	14 人
2	８月３日(水) 青少年センター	実習「アイスブレイキングの指導体験」 担当：指導者育成課職員	16 人
3	８月７日(日) 青少年センター 科学部	プログラム体験「アイスブレイキングのアクティビティ体験」 講師：藤樫　亮二　氏 (プロジェクトアドベンチャージャパン非常勤講師、 学校法人藤樫学園理事)	17 人

②　テーマ「インプロワークショップ」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	８月４日(木) 青少年センター	プログラム体験「インプロ体験」 講師：池上　奈生美　氏、　峰松　佳代　氏 (株式会社インプロジャパン)	18 人

③　テーマ「コミュニケーションワークショップ」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	７月30日(土) 青少年センター	プログラム体験「コーチングを中心とした、自己肯定感を高められるプログラム体験」 講師：川本　正秀　氏 (共育コーチング研究会　代表)	14 人

④　テーマ「グループワークの活用法」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	７月28日(木) 青少年センター	プログラム体験 「グループづくりや仲間づくりに役立つアクティビティの体験」 担当：指導者育成課職員	17 人
2	８月20日(土) 青少年センター	プログラム体験 「グループづくりや仲間づくりに役立つアクティビティの体験」 担当：指導者育成課職員	13 人

d　人材育成推進事業「ステップアップキャラバン」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	４月23日(土) ～24日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	令和４年度厚木市ジュニア・リーダーカウンセラー養成研修会 ユースサポーター（以下YS）の指導内容： ジュニア・リーダーに対するアイスブレイキング、キャンプファイヤー及び野外炊事等の指導	14 人 (YS５人)
2	７月９日(土) ～10日(日) 川崎市黒川青少年 野外活動センター	令和４年度ユースボランティアセミナー第２回 YSの指導内容： アイスブレイキング、キャンプファイヤーの実施及びジュニア・リーダーに対する指導、並びに事業全体の進行の補助	13 人 (YS６人)
3	７月16日（土） 茅ヶ崎市 柳島キャンプ場	茅ヶ崎市小学生リーダー養成講座 YSの指導内容： 小学生リーダー等に対するアイスブレイキング、野外炊事及びKYT(危険予知トレーニング)の指導	８人 (YS３人)
4	９月17日(土) 平塚市青少年会館	平塚市ジュニア・リーダー　バルーンアート研修会 YSの指導内容： ジュニア・リーダー等に対するバルーンアート技術指導	12 人 (YS２人)
5	３月４日(土) 青少年センター	横浜・紅葉ケ丘まいらん連携事業「いざ、まいらん、紅葉ケ丘へ！」 YSの指導内容： 一般参加者に対する工作教室とプチ運動会の運営	72 人 (YS３人)

e　リードアップセミナー

テーマ「『初めて』の不安を解消　スタートアップセミナー」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	５月17日(火) 青少年センター	実習「アイスブレイキング体験」 講演、ワークショップ「青少年育成の魅力とやりがい」 担当：指導者育成課職員 講師：岡本　研　氏 （千葉県立水郷小見川青少年自然の家　所長）	25人
2	５月23日(月) ～24日(火) 足柄ふれあいの村	実習「アイスブレイキング体験」「コミュニケーションゲーム体験」 「アウトドアクッキング体験」「自然体験プログラム体験」 担当：指導者育成課職員	14人
3	６月１日（水） 青少年センター	実習「アイスブレイキング体験」「イニシアティブゲーム体験」 講義「かながわ青少年支援・指導者育成指針」 事例発表・ワークショップ 「先輩職員から学ぶ、企画づくりや活動のヒント」 担当：指導者育成課職員 講師：本田　明　氏（公益財団法人よこはまユース） 大久保　咲紀　氏（厚木市こども未来部青少年課） 藤井　睦　氏（厚木市七沢自然ふれあいセンター）	18人

ｆ　フォローアップセミナー

テーマ「青少年育成＆行政職員研修 NEXT STAGE」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	２月10日(金) 青少年センター	プログラム体験「心をつなぐ！ＰＡ系アクティビティの体験」 講師：二宮　孝　氏 (NPO法人体験学習研究会プロデューサー)	11人
2	２月16日(木) 青少年センター	講義・実習「人前で話すときのワンポイント」 講師：齋藤　由美子　氏 (フリーランスナレーター)	24人
3	２月22日(水) 青少年センター	講義・実習「キャッチコピーとデザイン入門～Ａ４チラシをブラッシュアップ～」 講師：高瀬　桃子　氏 (Willing Hands On代表)	14人

ｇ　子ども施設指導員セミナー

①　テーマ「コロナ禍でもできるアイスブレイキング＆グループワーク」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	６月17日(金) 青少年センター	実習「アイスブレイキングゲームおよびグループワークの体験」 担当：指導者育成課職員	34人
2	12月８日(木) 小田原合同庁舎		18人

②　テーマ「つくって遊べる科学工作」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	７月６日(水)午前 青少年センター 科学部	プログラム体験「科学実験ショー」 実習「科学工作」 (浮沈子、手書き3D、ペットボトル空気砲、シャウティングチキン、リバーブマイク等) 講師：科学部科学支援課職員	23人
2	７月６日(水)午後 青少年センター 科学部		21人
3	10月28日(金) 横須賀市役所正庁		19人

③　テーマ「場づくりに生かす！インプロワークショップ」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	９月15日(木) 門沢橋コミュニティセンター	プログラム体験「演劇的手法を用いたワークショップ」 講師：鈴木　聡之　氏（インプロパーク　主宰） アシスタント：戸草内　淳基　氏、　会原　実希　氏 (インプロカンパニーPlatform)	34人
2	11月15日(火) 玉縄青少年会館		17人

h　イベントボランティアセミナー

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	10月９日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」(ユース・リーダー) 実習「企画会議①」 担当：指導者育成課職員	10人
2	11月６日(日) 青少年センター	実習「企画会議②」 担当：指導者育成課職員	14人
3	12月11日(日) 青少年センター	実習「企画会議③」 担当：指導者育成課職員	23人
4	１月15日(日) 青少年センター	実習「企画会議④」 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員	16人
5	１月28日(土) 青少年センター	実習「子どもフェスティバル前日準備・リハーサル」 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員	25人
6 (事業)	１月29日(日) 青少年センター	実習「子どもフェスティバル」 (ホール司会進行・ステージ発表、体験ブースの運営) 担当：指導者育成課職員、ホール運営課職員	27人

i　キャンプ活動セミナー

テーマ「子どもと関わる活動を目指す人のための！サマーキャンプ in 七沢・宮ヶ瀬」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	９月３日(土) ～４日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	プログラム体験「アイスブレイキング」「チームビルディング」 実習「火起こし・野外炊事」「参加者の企画による交流会」 「カヌー・カヤックの体験研修」 担当：指導者育成課職員 講師：中川　賢彦　氏、　清水　功　氏 (きよかわアウトドアスポーツクラブ)	15人

j　子どもキャンププロジェクト

テーマ(活動全体)「大学生向け　企画・運営ボランティア『子どもキャンププロジェクト』」

(宿泊事業)「いつもとちがうたのしいを、いっしょにやってみない？

学生ボランティアと過ごす　　冬の林間キャンプ」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月27日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」「企画会議①」 担当：指導者育成課職員	６人
2	12月18日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	施設見学 実習「企画会議②」 担当：指導者育成課職員	８人
3	１月８日(日) 青少年センター	実習「企画会議③」 担当：指導者育成課職員	８人
4	２月12日(日) 青少年センター	実習「企画会議④」 担当：指導者育成課職員	４人

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
5	２月24日(金) ～26日(日) 厚木市七沢自然 ふれあいセンター	実習「子どもキャンプ前日準備・リハーサル」 実習「子どもキャンプ」(プログラムの進行、運営) 担当：指導者育成課職員	28人 (児童含む)
6	３月６日(日) 青少年センター	実習「ふりかえり」 担当：指導者育成課職員	７人

k　ユースボランティアセミナー

テーマ(第１回)「『令和に楽しむ集団遊び』と『わくわく遊びづくり』」

(第２回)「キャンプ！防災！に役立つロープワークとアウトドア体験」

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	６月12日(日) 青少年センター	実習「アイスブレイキング」「集団遊び体験」「遊びづくり」 「ピアティーチング」 担当：指導者育成課職員	８人
2	７月９日(土) ～10日(日) 川崎市黒川青少年 野外活動センター	実習「アイスブレイキング」「キャンプファイヤー」「ロープワーク」 「減災・防災研修」 担当：指導者育成課職員	13人

l　インターンシップ、社会体験研修受入れ等

現職教員の５年経験者研修の一部を構成する、社会体験研修として１人(延べ２回)を受入れた。また、大学生の社会教育課程の一部を構成する、社会教育実習として１人(延べ７回)を受入れた。感染症対策の一環として、大学生や高校生のインターンシップの募集は見送った。

(ｲ) 青少年育成のための実践的調査研究

a　活動に役に立つマニュアル・手引作成

Web ページ「自然体験活動　虎の巻」の掲載

内　容　：青少年の体験活動を支援する大人向け、初心者向けの Web ページ

配布先　：Web ページより PDF ファイルをダウンロード可

(ｳ) 青少年支援・指導者、団体等への支援

a　青少年資料室の運営

青少年関係資料の整理・収集をし、青少年資料室にて提供した。

b　調査・アンケート実施

研修終了時に参加者を対象にアンケートを行い、その結果を含め事業を評価し、事業改善につなげるとともに、参加者の事後アンケート調査や取材調査により、研修後の活用についてまとめ、研修事業実施報告書により青少年関係機関へ提供した。

c　活動支援

場の提供、講師・指導者の紹介・派遣、プログラム紹介・指導(随時) を随時行なった。

(令和４年度実績：　　講師紹介等１件、職員派遣８人)

(ｴ) 青少年指導者養成推進事業

a　青少年指導者養成連携・調整（神奈川県青少年指導者養成協議会事業）

(a)　総会

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	５月13日(金) 書面開催、講演のみ オンライン開催	○県・市町村・青少年関係団体等の青少年支援・指導者育成事業について ○令和３年度青少年指導者養成協議会事業実施結果について ○令和４年度青少年指導者養成協議会事業計画(案)について ○講演「ポスト・コロナにおける体験活動の実践」 講師：原田　順一　氏 (NPO法人　湘南自然学校　チーフプロデューサー)	43人 講演参加者数 32 人

(b)　常任委員会

回数	実施日／場所	主な内容	参加人数
1	４月14日(木) 青少年センター	○令和４年度総会について ○令和４年度専門部会について ○総会後の講演会について　　他	12人
2	10月６日(木) 青少年センター	○令和４年度専門部会について ○令和４年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について ○第２回青少年支援・指導者育成事業担当者会議について ○第３回常任委員会について　　他	11人
3	２月７日 (火) 青少年センター	○令和４年度専門部会について ○令和４年度青少年指導者養成協議会事業中間報告について　　他	11人

(c)　専門部会

回数	実施日／場所	主な内容	参加人数
1	７月５日(火) 青少年センター	○成果物の内容について ○今後の予定について	７人
2	７月15日(金) 青少年センター	○具体的な内容について ○役割分担について ○今後の予定について	７人
3	11月２日(水) 青少年センター	○進捗状況の確認 ○今後の予定について　　他	７人
4	12月21日(水) 青少年センター	○進捗状況の確認について ○公開方法の検討について ○今後の予定について　　他	７人

回数	実施日／場所	主な内容	参加人数
5	３月３日(金) 青少年センター	○県HPでの公開に向けて ○今後の予定について　　他	７人

(d)　青少年支援・指導者育成事業担当者会議

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	４月20日(水) 厚木シティプラザ	○令和３年度事業実施結果及び令和４年度事業実施計画について ○専門部会成果物「日本の季節を美味しく楽しく遊文化」の活用について ○情報交換	11人
	４月22日（金） 小田原合同庁舎		10人
	４月26日(火) 平塚合同庁舎		９人
	４月28日(木) 青少年センター		15人
2	11月11日(金) 青少年センター	○講演「青少年の体験活動の充実を目指して ～すべての子どもに豊かな体験を届けるために～」 講師：國學院大學人間開発学部准教授 青木　康太朗　氏 ○情報交換	28人

b　青少年支援・指導者活動状況、青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

(a)　青少年支援・指導者活動状況の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者の活動状況を調査した。（調査：９月）

(b)　青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査

県、市区町村、青少年関係団体等が把握している青少年支援・指導者育成事業について、令和４年度の実施結果と令和５年度の事業計画を調査した。（調査：３月）

イ　地域活動推進事業

(ｱ) 子ども会大会（青少年センター子どもフェスティバル）

県内の子ども会相互の交流と連帯を進め、これからの子ども会活動の発展と充実を図った。

日　時　：１月29日(日)
会　場　：青少年センター　スタジオHIKARI（子どもフェスティバルは全館）

(ｲ) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業

子ども会情報誌の編集会議

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	６月７日(火) 青少年センター	企画「編集会議①」 担当：指導者育成課職員	５人
2	11月24日(木) 青少年センター	企画「編集会議②」 担当：指導者育成課職員	５人

子ども会情報誌の取材活動

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	８月10日(水) 横浜市こども自然公園青少年野外活動センター	情報誌「子ども会」作成に係る取材活動 （保土ヶ谷区子ども会サマーキャンプ） 担当：指導者育成課職員、ジュニア・リーダー	１人
2	８月21日(日) 栃木県立なす高原自然の家	情報誌「子ども会」作成に係る取材活動 （関東甲信越静地区子ども会ジュニア・リーダー研修会） 担当：ジュニア・リーダー、ユース・リーダー	４人
3	９月３日(土) 山北町 西丹沢中川ロッヂ	情報誌「子ども会」作成に係る取材活動 （湯河原町子連夏季キャンプ） 担当：ユース・リーダー	２人
4	11月13日(日) 川崎市高津区 新二子橋	情報誌「子ども会」作成に係る取材活動 （高津区子どもフェア） 担当：指導者育成課職員	２人
5	11月13日(日) 厚木市七沢自然ふれあいセンター	情報誌「子ども会」作成に係る取材活動 （神奈川県子ども会ジュニア・リーダー大会） 担当：ユース・リーダー	２人
6	１月29日(日) 青少年センター	情報誌「子ども会」作成に係る取材活動 （県立青少年センター子どもフェスティバル） 担当：指導者育成課職員、ユース・リーダー	１人

(ｳ) 地域活性化事業（市町村・団体協働事業）

a　令和４年度大和市子ども会連絡協議会子ども会研修会「子ども会　ちょっといい話」

※大和市子ども会連絡協議会と共催

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	６月29日(水) 大和市文化創造拠点 シリウス	講義・実習「危険予知トレーニング（５分間KYT)」 実習「子ども会で使える簡単なゲーム紹介」 ワークショップ「ちょっといい話」 講師：大和市子ども会連絡協議会　会長 小川　陽子　氏 指導者育成課職員	30人

b　令和４年度藤沢市青少年指導員協議会　全体研修会「アイスブレイク研修」

※藤沢市青少年指導員協議会と共催

回数	実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
1	11月11日(金) 秩父宮記念体育館	プログラム体験・実習「アイスブレイキング」 講師：指導者育成課職員	118人

ウ　青少年行政総合推進事業

(ｱ) 「中学生の主張 in かながわ」

神奈川県に在住または在学する中学生が、日常生活の中で考えていることを作文にして発表することを通して、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけ、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を伸ばすことを目的とし、優秀作品の発表大会及び表彰式を開催した。

実 施 日：９月25日(日)
会　　場：青少年センター　スタジオHIKARI
応募者数：685人
発表者数：７人
発表テーマ：
(1) 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など
(2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど
(3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

(ｲ) 子ども・若者を理解するための講演会

子ども・若者が有する悩みや背景をテーマに、講演会等を開催した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
10月29日（土） 青少年センター　研修室１	「子どもの心の健康とネットゲーム ～ネットゲーム対策を通じて家族機能を高める～ 」 講師：青山　久美　氏 (神奈川県立精神医療センター医師/ 横浜市青少年相談センター嘱託医)	34人

㈼ 困難事例における専門家の助言指導

電話又は来所相談における困難事例について、専門家である精神科医による助言指導を実施した。

（３）ひきこもり、不登校や非行等への対応

不登校・ひきこもり・非行などで悩む子ども・若者についての相談、そのような子ども・若者を地域で様々な形でサポートするＮＰＯ等への支援、青少年の自立支援、フリースペース等を運営するＮＰＯ等が実施する相談活動に対する補助、さらに講演会やセミナーを通じて子ども・若者が有する問題への理解を啓発するなどの事業を行うとともに、ひきこもり支援における市町村機能強化事業に取り組んだ。

区分	事業名	概　　要	対象者	参加者数
ア　ひきこもり地域支援センター事業				
㈺不登校・ひきこもり等相談関係事業	かながわ子ども・若者総合相談及びひきこもり地域支援センターの運営	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター」と、厚生労働省の「ひきこもり支援センター設置運営事業」により設置した「神奈川県ひきこもり地域支援センター」を一体として運営し、ひきこもり、不登校、非行など多様な相談（電話・面接）に対応した。また、令和４年６月からは、ひきこもり相談専用電話を開設し、相談支援を行った。	県民	延2,598件 電話・来所相談
	地域相談事業（県西部青少年サポート相談室）	ＮＰＯと協働で県西部地域及びその他県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。	県民	延407件 電話・来所相談
	地域相談強化事業（神奈川県地域青少年相談窓口）	ＮＰＯ相談・支援アドバイザーを派遣し、県域に相談窓口（電話・面接）を開設し、子ども・若者や家族等からの相談に応じた。	県民	延64件 電話・来所相談
	事例検討	週１回、相談員が全員で相談ケースの検討を行うほか、複雑、困難な相談ケースについて、臨床心理士等の専門職を加えた検討会を実施した。	相談員・ＮＰＯ法人等の相談担当者等	毎週１回、臨床心理士年４回（うち２回は西部青少年サポート相談室） 精神科医年３回
	相談業務研修	高齢者虐待の対応にかかる基本的知識や横浜市の相談機関等のその時々のトピクスをテーマに相談技術の基本的理解を深め、日々の相談業務の円滑化のための研修を実施した。	相談員	延14人

区分		事業名	概　　要	対象者	参加者数
		相談員研修	県内で子ども・若者の相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施した。	教員・相談機関職員・行政職員・ＮＰＯ等職員	３回実施 延157人
	(ｲ)不登校・ひきこもり等ＮＰＯ支援事業及び運営支援情報の提供	ＮＰＯ等の活動に必要な場や機器の提供（ＮＰＯ支援スペース）	ひきこもり、不登校、非行等で悩む青少年や家族のサポートに取り組むＮＰＯや家族会等への活動支援として、打合せや活動等に利用できる場、軽印刷機・紙折り機等を利用できる場を提供した。	登録されている県内ＮＰＯ等支援団体	延273団体 延1,381人
		ＮＰＯ運営支援情報の提供	ＮＰＯ相談・支援アドバイザーを配置し、ＮＰＯの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行った。	県民・ ＮＰＯ等職員	相談件数 ０件
		フリ・フリ・フェスタ	各団体を利用している当事者、保護者、支援者、関係者等が、主体的に参加し、楽しみながら作り上げる交流イベント。 外部への広報に努め、ひきこもり、不登校についての理解の普及、啓発を促進する。広く、多くの人に支援団体の活動を知ってもらうとともに、支援を必要としている人が支援団体とつながる機会を提供。	ＮＰＯ等支援団体、県民	延717人
		演劇活用青少年支援事業	不登校、ひきこもり等の困難を有する方を対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップを実施。	国・県並びに市町村の関係機関、ＮＰＯ等支援団体関係者	３回実施 延29人
	(ｳ)啓発事業	相談窓口紹介カード作成・配布	県内の全小・中・高校生等にかながわ子ども・若者総合相談センターや総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布した。	県内の小･中･高校等に在籍する児童・生徒等	1,000,000枚 （発行枚数）
		ひきこもり相談窓口紹介リーフレット等の配布	相談窓口を紹介するリーフレットを配布した。	小・中・高校、相談機関窓口等	18,000枚 (ﾘｰﾌﾚｯﾄ配布枚数)
		関連情報の提供	ひきこもり、不登校、非行等に悩む方々やそのサポート活動を行うＮＰＯ等に、相談や団体の活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナー、ホームページ等で紹介、提供した。	県民、ＮＰＯ等支援団体	－
イ　ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業					
	専門職チーム	専門職チームによる助言	精神科医、弁護士、臨床心理士、社会福祉士を配置し、市町村等が対応している事案を連携会議やケース検討会議により検討し、市町村等に対して助言を行った。	市町村職員	精神科医 29回 弁護士12回

区分	事業名	概　　要	対象者	参加者数
(ｲ)市町村支援員	市町村支援員による助言や相談対応	市町村等ひきこもり支援機関への後方支援のため、助言や相談対応等を行った。	市町村職員	30市町村へのヒアリング、訪問支援　３回 巡回型居場所事業の実施　11回 延56人
(ｳ)訪問相談支援員	市町村支援員による相談支援	ひきこもりの長期化や高齢化等、困難ケースへの対応を含めた訪問支援を行った。	県民、市町村職員	アウトリーチの件数 35件
(ｴ)ひきこもり支援に携わる人材の養成研修	ＮＰＯスタッフ研修会	ＮＰＯの日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会を実施した。	ＮＰＯ等支援団体スタッフ等	12人
	不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるためのボランティア育成研修	ひきこもり・不登校の支援活動に取り組む団体で活動してみたいという人等を対象に、基礎知識や、困難を有する若者への理解について等を学ぶ研修を実施した。	県民、ＮＰＯ等支援団体スタッフ等	延26人
	ひきこもり地域理解促進事業	ひきこもり問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すため、各地域で団体が自主的に取り組む研修会や講演会等の講師費用を支援した。	県内ＮＰＯ等支援団体	６団体
	ひきこもり理解のための市町村等職員研修	令和４年度は市町村職員を対象とする会議の中で実施したため、単独では実施しなかった。	市町村職員	－
(ｵ)ひきこもりサポート事業	かながわbeフレンド事業（ひきこもり相談補助員事業）	ひきこもり経験者等が、研修を受講した後、相談員の助言・指導のもと、面接に同席し、ひきこもりに悩む家族等の相談の補助、または地域において体験談を語るなどの啓発活動、ひきこもり当事者のための居場所のスタッフとして活動を行った。 ・打合せ及び研修 ・相談補助 ・当事者のための居場所（11回開催）スタッフ ・演劇ワークショップ（２回開催）への参加	ＮＰＯ団体等の推薦を受けた者	10人 研修４回 １人 延24人 延６人
	ひきこもりを考える家族セミナー	ひきこもり当事者の家族支援、家族や関係支援者へのひきこもりへの理解を図ることを目的としたセミナーを実施した。	ひきこもりの当事者を有する家族、関係支援者等	６回 135人
	ひきこもり地域青少年支援フォーラム	ひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を招いたフォーラムの開催を市町村に呼び掛けたが、開催を希望する市町村はなく実施しなかった。	県民、関係支援者等	－

区分		事業名	概　　要	対象者	参加者数
		ひきこもり当事者のための居場所	ひきこもり当事者のための居場所を地域巡回型で実施し、ひきこもり当事者の外出の機会を提供するとともに市町村にそのノウハウを提供した。	ひきこもり当事者、 市町村職員、 関係支援者等	11回開催 延56人
	(ｶ)ひきこもり支援市町村連携会議の開催	ひきこもり支援市町村連携会議の開催	ひきこもり支援を推進するための体制を構築することを目的に会議を開催し、先行事例の紹介や地域ブロックごとの意見交換などを行う。	市町村職員	30市町村へのヒアリング 会議４回実施
ウ　フリースペース等事業費補助					
		フリースペース等事業費補助	地域でフリースクール等を展開し、ひきこもり、不登校等に関する相談を受けるＮＰＯ等の活動を促進するため、相談事業を実施するＮＰＯ等支援団体に対して、補助金を交付した。	フリースペース等を運営し、相談事業を行うＮＰＯ等	10団体
エ　ひきこもり等青少年自立支援事業					
		ソーシャルスキルワークショップ（自立支援事業）	コミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自立支援を目的とした「ソーシャルスキルワークショップ」を、ひきこもり等の青少年支援に取り組むＮＰＯ等支援団体と協働して実施予定であったが、令和４年度は当初予算計上がされず中止。	39歳までの県内在住･在学･在勤者	－

各事業の内容は次のとおりである。

ア　ひきこもり地域支援センター事業

(ｱ) 不登校・ひきこもり等相談関係事業

ａ　かながわ子ども・若者総合相談センター及び神奈川県ひきこもり地域支援センターの運営

かながわ子ども・若者総合相談センターと神奈川県ひきこもり地域支援センターを一体として運営し、青少年センター及びＮＰＯと協働で開設した県西部青少年サポート相談室及び神奈川県地域青少年相談窓口において、子どもや若者、家族の相談に応じた。

○　電話相談：延べ2,778件

（うち県西部青少年サポート相談室317件、神奈川県地域青少年相談窓口12件）

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本　　人	1,091	68	1	1,160	41.8%
父	199	23	0	222	8.0%
母	993	173	11	1,177	42.4%
その他親族	80	33	0	113	4.1%
知　　人	11	3	0	14	0.5%
関係機関	26	17	0	43	1.5%
そ の 他	9	0	0	9	0.3%
不　　明	40	0	0	40	1.4%
計	2,449	317	12	2,778	

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	0	0	0	0	0.0%
小 学 生	44	21	0	65	2.3%
中 学 生	108	37	2	147	5.3%
高 校 生	233	64	2	299	10.8%
専門学校生	35	1	0	36	1.3%
大 学 生	235	15	0	250	9.0%
有　　職	377	27	1	405	14.6%
無　　職	948	109	4	1,061	38.2%
そ の 他	229	30	0	259	9.3%
不　　明	240	13	3	256	9.2%
計	2,449	317	12	2,778	

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	351	95	2	448	16.1%
不　登　校	129	65	3	197	7.1%
非　　行	16	1	0	17	0.6%
精 神 保 健	394	24	0	418	15.0%
就 労 関 係	286	21	3	310	11.2%
学 校 関 係	183	21	1	205	7.4%
対 人 関 係	206	7	1	214	7.7%
家 庭 問 題	367	16	2	385	13.9%
発達障害等	19	22	0	41	1.5%
児 童 福 祉	2	0	0	2	0.1%
犯 罪 被 害	10	0	0	10	0.4%
健 康 問 題	110	6	0	116	4.2%
生 活 問 題	297	36	0	333	12.0%
Ｌ Ｇ Ｂ Ｔ	3	0	0	3	0.1%
そ の 他	76	3	0	79	2.8%
計	2,449	317	12	2,778	

○　面接相談：

延べ291件（うち本所149件、県西部青少年サポート相談室90件、神奈川県地域青少年相談窓口52件）

実　115件（うち県西部青少年サポート相談室43件、神奈川県地域青少年相談窓口36件）

相談者の続柄

	本所	西部	地域	計	%
本　　人	14	16	10	40	34.8%
父	3	3	4	10	8.7%
母	12	18	19	49	42.6%
父 母 等	7	6	2	15	13.0%
その他親族	0	0	1	1	0.9%
知　　人	0	0	0	0	0.0%
関係機関	0	0	0	0	0.0%
計	36	43	36	115	

相談対象者の内訳

	本所	西部	地域	計	%
未就学児	0	0	0	0	0.0%
小 学 生	1	4	0	5	4.3%
中 学 生	4	5	4	13	11.3%
高 校 生	0	7	3	10	8.7%
専門学校生	1	0	0	1	0.9%
大 学 生	4	6	3	13	11.3%
有　　職	7	0	3	10	8.7%
無　　職	19	21	23	63	55.7%
計	36	43	36	115	

相談の内容

	本所	西部	地域	計	%
ひきこもり	15	17	18	50	43.5%
不 登 校	4	10	5	19	16.5%
非　　行	0	0	0	0	0.0%
精 神 保 健	1	1	2	4	3.5%
就 労 関 係	6	1	6	13	11.3%
学 校 関 係	2	8	0	10	8.7%
対 人 関 係	0	0	1	1	0.9%
家 庭 問 題	4	0	1	5	4.3%
発達障害等	1	3	1	5	4.3%
児 童 福 祉	0	0	0	0	0.0%
犯 罪 被 害	0	0	0	0	0.0%
健 康 問 題	1	0	0	1	0.9%
生 活 問 題	2	3	2	7	6.1%
Ｌ Ｇ Ｂ Ｔ	0	0	0	0	0.0%
そ の 他	0	0	0	0	0.0%
計	36	43	36	115	

b　地域相談事業（県西部青少年サポート相談室）

県西部における相談の利便性を確保するため、ＮＰＯと協働して小田原市内に県西部青少年サポート相談室を開設した。

c　地域相談強化事業（神奈川県地域青少年相談窓口）

県域における相談の利便性を確保するため、ＮＰＯ相談・支援アドバイザーを派遣し、横須賀三浦地域（葉山町内）及び湘南地域（寒川町内）、県央地域（厚木市内、綾瀬市内）に青少年相談窓口を開設した。

d　事例検討

相談事例の共有と適切な支援方法を検討するために、週に１回定例の検討会に加え、事例検討会を開催し、臨床心理士より助言を受けた。

e　相談業務研修

高齢者虐待への対応、障がい者への相談支援についての研修を実施し、日々の相談業務の円滑化を図った。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
11 月 24 日（木） 青少年センター ＮＰＯ活動室①	「高齢者虐待の対応について」 講師：間瀬　実　氏 （県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ）	９人
１月 11 日（水） 青少年センター ＮＰＯ活動室①	「横浜市の相談支援について」 講師：島田　朝久　氏 （社会福祉士）	５人

f　相談員研修

県内で子ども・若者への相談支援を行う公的機関職員及び民間団体スタッフを対象に、相談技術の向上と子ども・若者にかかる問題の理解に焦点をあてた研修を実施した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
７月７日(木) 青少年センター 研修室１	「相談の基本　～‘かかわり’の面接技法について学ぶ～」 講師：井上　夏子　氏 （神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科助教）	40人
９月１日(木) Zoom	「相談支援の実際　～家族支援のあり方を考える～」 講師：福井　里江　氏 （東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座准教授）	67人
３月14日（火） Zoom	「的確なアセスメントに向けて～効果的なインテーク手法を学ぶ～」 講師：野尻　紀恵　氏 （日本福祉大学社会福祉学部教授）	50人

(ｲ) 不登校・ひきこもり等ＮＰＯ支援事業及び運営支援情報の提供

a　ＮＰＯの活動に必要な場や機器の提供(ＮＰＯ支援スペース)

会合や諸活動等に利用できる「活動室」、予約なしで打ち合わせ等が行える「オープンスペース」、軽印刷機や紙折り機等が使用できる「ワーキングコーナー」や関係情報を閲覧できる「情報コーナー」等を提供した。

（令和４年４月１日から令和５年３月 31 日）

	活動室	交流サロン・オープン活動室	ワーキングコーナー	情報コーナー・オープンスペース	研修室	計
団体数	235	0	22	16	0	273団体
人数	1,318	0	24	39	0	1,381人

b　ＮＰＯ運営支援情報の提供

ＮＰＯの運営や財務に関して、ＮＰＯの立ち上げや運営等の経験があるＮＰＯ相談・支援アドバイザーが相談を受ける。令和４年度は相談がなかった。

c　フリ・フリ・フェスタ

団体や機関の交流や情報交換を深め、また不登校やひきこもり等の青少年や家族を支える活動の活性化のため、フリ・フリ・フェスタ実行委員会と協働して実施した。

d　演劇活用青少年支援事業（舞台芸術活用ワークショップ等青少年支援事業）

不登校、ひきこもり等の問題を有する子どもたちを対象に、舞台芸術の手法を活かしたワークショップ（アウトリーチ）を実施した。

(ｳ) 啓発事業

a　相談窓口紹介カード作成・配布

県内の全小学生・中学生・高校生等に相談や支援に係る情報提供を行った。

発行部数：1,000,000部

b　ひきこもり相談窓口紹介リーフレット等の配布

研修の参加者等に、相談窓口案内を紹介するリーフレットを配布した。

リーフレット配布枚数：18,000 枚

c　関連情報の提供

ひきこもりや不登校等の問題に取り組む県内ＮＰＯ等の情報や、ひきこもり等関連の講演会等の情報を、青少年センターの相談窓口、情報コーナー、ホームページ等により紹介、提供した。

イ　ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業

(ｱ) 専門職チーム

精神科医、弁護士、臨床心理士、社会福祉士を配置し、市町村等が対応している事案を連携会議やケース検討会議により検討し、市町村等に対して助言を行った。

・精神科医による検討会　29回
・弁護士による検討会　　12回

(ｲ) 市町村支援員

市町村等ひきこもり支援機関への後方支援のため、助言や相談対応、ひきこもり当事者のための居場所等を行った。

・30 市町村へのヒアリングの実施
・市町村や関係機関などの訪問支援　３回
・巡回型居場所事業の実施　合計 11 回、延べ 56 人

(ｳ) 訪問相談支援員

ひきこもりの長期化や高齢化等、困難ケースへの対応を含めた訪問支援を行った

・アウトリーチ（自宅訪問のほか、家族会への参加や関係機関への同行等）35 件

(ｴ) ひきこもり支援に携わる人材の養成研修

a　ＮＰＯスタッフ研修会

不登校・ひきこもり等の青少年を支援するＮＰＯ等で活動するスタッフ等やボランティアが日常の活動や組織運営に役立つ知識や技能を修得し、日ごろの活動内容や悩み等を話し合い、情報交換や交流する機会としての研修会を開催した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
11 月 6 日（木） 青少年センター 研修室２	「 法的トラブルの解決と未然防止 ～上手な弁護士の活用方法～」 講師：内嶋　順一　氏 （みなと横浜法律事務所　弁護士）	12人

b　不登校・ひきこもりの子ども・若者を支えるためのボランティア育成研修人材育成研修

ひきこもり・不登校の支援活動に取り組む団体で活動してみたいという人や、既に活動等を始めているが、子ども・若者への理解を深めたいという人を対象に、ひきこもり・不登校の基礎知識や、困難を有する若者への理解について学び、県内で活動する団体の取組や理念などを知り、ボランティアへの意欲を高める研修を実施した。

実施日／場所	主な内容／講師	参加人数
２月11日（土） 青少年センター 研修室１	①　ひきこもり・不登校概論 講師：福井　里江　氏 （東京学芸大学准教授） ②　困難を抱える若者への理解 講師：和田　重宏　氏 （ＮＰＯ法人子どもと生活文化協会　顧問） ③　当事者の気持ちへの理解 講師：丸山　康彦　氏 （ヒューマン・スタジオ代表）	16人
２月 26 日（日） 青少年センター 研修室１	④　各団体の活動紹介 ・ＮＰＯ法人楠の木学園 ・ＮＰＯ法人ぜんしん ・ＮＰＯ法人フリースクール鈴蘭学園 ⑤　グループワーク・発表	10人

c　ひきこもり地域理解促進事業

ひきこもり、不登校等に悩む子ども・若者を地域で支える団体の活性化や地域におけるひきこもり問題への理解を促進するため、団体が開催する講座等を青少年センターが共催し、併せて講師等の謝金を負担して、団体活動を支援した。

事業趣旨（事業区分）	実施団体数	参加延人数
ひきこもり青少年親の会等地域団体活動促進	４団体	132 人
ひきこもり地域支援団体活動促進	２団体	34 人

d　ひきこもり理解のための市町村等職員研修

市町村等の行政職員を対象にひきこもり支援の基礎的研修を行う。令和４年度は市町村職員が参加する会議の中で実施したため、単独では実施しなかった。

(ｵ) ひきこもりサポート事業

a　かながわbeフレンド事業（ひきこもり相談補助員事業）

かながわ子ども・若者総合相談センターのＮＰＯ相談・支援アドバイザーの所属する団体等より推薦を受け、養成研修を受講した10人を、かながわbeフレンドとして委嘱した。

面接相談における相談補助活動や、ひきこもりを考える家族セミナーでの講演のほか、今年度試行したひきこもり当事者のための居場所事業において、スタッフとして活動を行った。

(a) 打合せ及び研修

回数	実施日／場所	主な内容・講師	参加人数
1	６月２日（木） 青少年センター 研修室１	第一回打合せ及び研修 令和４年度ひきこもり地域支援センター市町村等支援強化機能事業について 動画視聴　・ひきこもりに関する理解 ・体験者の話を聞くことにより自身の体験を振り返る グループワーク 「自己紹介。限られた時間で自身の経験を語る～自分自身のことを話してみよう。他者の体験を聞いてみよう。～」	10 人
2	８月 18 日（木） 青少年センター 研修室１	第二回打合せ及び研修 講義：ひきこもり当事者のための居場所づくりを考える ～居場所づくりの実際～ 講師：割田　大悟　氏 （ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in 横浜　主宰）	10 人
3	10 月 28 日（金） 青少年センター 研修室１	第三回打合せ及び研修 講義：演劇の表現方法を活用したワーク 講師：河井 朗　氏 （演劇カンパニー「ルサンチカ」主宰） 永井　茉莉奈　氏（俳優）、　蒼乃 まを　氏（俳優）	９人
4	２月 28 日（火） 青少年センター 研修室２	第四回打合せ 今年度の活動報告と個別のふりかえり グループワーク「新しい居場所を作る」	９人

(b) 相談補助

相談者の希望に応じて、相談員、ＮＰＯ相談・支援アドバイザー同席のもと面接相談に入り、自身の体験などを相談者に伝えることにより、ひきこもりに対して家族が理解を深め、当事者への対応について考えるための一助とした。

・相談補助（当事者）　　１人

(c) ひきこもり当事者のための居場所スタッフ

ひきこもり当事者のための居場所の開催に際し、ひきこもり経験者のあるスタッフとして運営に参加した。

・11 回開催　延べ 24 人参加

(d) 演劇ワークショップへの参加

不登校、ひきこもり等の困難を有する方を対象としているワークショップに参加し、参加者が円滑にワークショップに参加できるよう支援した。

・３回実施　延べ６人参加

b　ひきこもりを考える家族セミナー

県保健福祉事務所・県精神保健福祉センター・市町村等との協働により、ひきこもりに関する知識・情報を提供し、家族の焦燥感の軽減や、当事者への関わり方の変化を期待するため、家族セミナーを開催した。

実施日等	内　容	参加人数
７月30日（土） 海老名市主催	「ひきこもりに向き合う～体験者とともに～」 講師：滝田 衛 氏 （NPO法人七里が丘子ども若者支援研究所　主宰） 新舛 秀浩 氏 （ひきこもり発信プロジェクト　代表） かながわbeフレンド２人による座談会	19人
９月29日（木） 青少年センター主催	「ひきこもりの理解と対応 ～コミュニケーションと理解をすすめるために～ 」 講師：長見　英知　氏 （湘南精神保健福祉士事務所　所長）	54人
９月30日（金） 座間市主催	居場所利用者との交流会「ひきこもり当事者のお話を伺う」 講師：かながわbeフレンド２人	３人
11月８日（火） 横須賀市主催	ひきこもり講演会「当事者が語るひきこもり」 講師：かながわbeフレンド２人	15人
11月23日（水） 座間市主催	「ひきこもりを生きる」って何？ 家族へ伝えたいひきこもりへの目線 講師：長谷川　俊雄　氏 （白梅学園大学教授）	39人
２月24日（金） 座間市主催	居場所利用者との交流会「ひきこもり経験者が語るその時の思い」 講師：かながわbeフレンド２人	５人

c　ひきこもり地域青少年支援フォーラム

ひきこもりへの理解を深めるため、市町村と連携し、県民を対象にひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を招いたフォーラムを開催する予定で、市町村に実施を呼びかけたが、開催を希望する市町村がなく実施しなかった。

d　ひきこもり当事者のための居場所

ひきこもり当事者のための居場所を市町村巡回型で実施し、ひきこもり当事者の外出の機会を提供するとともに、市町村にそのノウハウを提供した。

実施日	開催市町村	実施場所	参加人数
10月14日（金）	横 浜 市	青少年センター	３人
10月26日（水）	葉 山 町	葉山町福祉文化センター	４人
11月２日（水）	中 井 町	中井町保健福祉センター	２人
11月９日（水）	伊勢原市	伊勢原シティプラザ	２人
12月13日（火）	海老名市	ViNA GADENS PERCH	11人
12月23日（金）	逗 子 市	逗子福祉会館	２人
１月12日（木）	伊勢原市	伊勢原シティプラザ	５人
１月26日（木）	海老名市	ViNA GADENS PERCH	８人
２月３日（金）	南足柄市	南足柄市りんどう会館	５人
２月15日（水）	横 浜 市	青少年センター	９人
３月10日（金）	横 浜 市	青少年センター	５人

(ｶ) ひきこもり支援市町村連携会議の開催

ひきこもり支援を推進するための体制を構築することを目的に会議を開催し、ＮＰＯ代表者等による講演や先行事例の紹介、地域ブロックごとの意見交換等を行った。

a　市町村（政令市を除く）へのヒアリングの実施　６～７月　30市町村

b　会議の開催

実施日等	内　容	参加人数
６月10 日（金） Zoom開催	・ひきこもり支援に係る国の方針等について ・「神奈川県ひきこもり支援市町村連携会議」の設置について ・ひきこもり地域支援センター市町村等支援機能強化事業について ・地域ブロック別の意見交換	14市町村 21人
９月９日（金） Zoom開催	・県ひきこもり地域支援センターによる30市町村の訪問結果と今後の事業展開について ・講演「支援の現場から見たひきこもりの現状と市町村	14市町村 21人

実施日等	内　容	参加人数
	における施策への期待」 講師：守田　洋　氏 （元 横浜市青少年相談センター 所長） 池田　正則　氏 （特定非営利活動法人リロード 理事長）	
12月21日（水）	・県と市町村との連携事業の実施状況について ・ひきこもり支援に係る先行事例の発表 ①　アウトリーチの取組について 横浜市こども青少年局青少年相談センター ②　家族支援及び当事者支援の取組について 横須賀市民生局健康部保健所 横須賀市民生局福祉こども部生活支援課 ③　庁内連携について 座間市福祉部生活援護課	15市町村 24人
２月８日 ～３月３日	・令和４年度における県及び市町村のひきこもり支援に係る取組状況について ・令和５年度における県及び市町村のひきこもり支援に係る取組予定について	28市町村

ウ　フリースペース等事業費補助

フリースペース、フリースクール等を運営するＮＰＯ等が実施するひきこもり等青少年やその家族を対象とした相談活動に支援を行った。

補助対象団体数	10団体

ＮＰＯ法人くじらぐも
ＮＰＯ法人教育支援協会南関東（フリースペースみなみ）
ＮＰＯ法人楠の木学園
ＮＰＯ法人アーモンドコミュニティネットワーク
ＮＰＯ法人教育活動総合サポートセンター
ＮＰＯ法人フリースクール鈴蘭学園
ＮＰＯ法人アンガージュマン・よこすか
フレンドリースペース金沢
ＮＰＯ法人くだかけ会
ＮＰＯ法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

エ　ひきこもり等青少年自立支援事業

ひきこもりや不登校の青少年の問題の多くは、友人や家族等とのコミュニケーションや対人関係に課題がある場合が多く、また、同様の悩みを持ちつつも就労している青少年が数多く存在することは、早期離職者の状況等からも伺える。こうしたコミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自立支援を目的とした「ソーシャルスキルワークショップ」を、ひきこもり等青少年支援に取り組むＮＰＯ等支援団体と協働して実施する予定であったが、令和４年度は、当初予算計上がされず、中止。

（４）青少年の科学体験活動の促進支援

青少年センターおよび県内地域において、科学体験やものづくりの講座、科学体験イベント、作品展や研究発表等を実施し、科学活動普及・啓発に努めた。あわせて、科学技術系人材育成事業として、キャリアプログラム等による青少年の人材育成、科学体験指導者の育成や教員研修事業を実施した。科学情報発信事業として、ホームページ(インターネット科学館)での資料提供等を実施した。

※　参加者数はすべて延べ人数

区分	事業名	概　　要	参加者	参加者数
ア　科学活動情報発信事業				
(ｱ)インターネット科学館		ホームページによる科学関係の情報を提供した。(令和４年３月から新ホームページに移行開始)	一般	新ＨＰアクセス回数 24,050件 (旧ＨＰは令和４年4月から10月までで 4,929件)
(ｲ)科学相談		科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談、体験室利用に対応した。	小学生以上 ～　一般	17件41人 来館利用1件1人、電話8件8人、体験室貸出1件25人、物品貸出6件6人、メール１件1人
イ　科学活動普及・啓発事業				
(ｱ)青少年科学活動啓発事業	子どもサイエンスフェスティバル	科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによる科学講座を、県内４か所で開催し、子どもたちの科学体験の場を提供した。	青少年 一般	507人
	青少年のための科学の祭典2022神奈川大会	小学生・中学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる実験・科学工作を行うブースによるイベントを開催し、青少年への科学の普及に寄与した。	青少年 一般	225人
	星空教室	月と惑星、月食、星団等を天体望遠鏡を使用して観察する教室を、13回予定したが、雨天のため５回中止、８回実施した。	小学生以上	325人
	科学講演会	青少年科学体験活動推進協議会総会等にあわせて予定実施した。	青少年 一般	21人

区分		事業名	概　　要	参加者	参加者数
		日本学生科学賞神奈川県作品展	県内中学生・高校生の研究作品コンクールの神奈川大会を支援し、出展数 116 点で、作品展を６日間開催した。	青少年 一般	400人
		神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会	神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部による研究発表会の開催を支援した。22 団体発表。	青少年 一般	136人 (前日準備6人を含む)
		神奈川県工業高等学校生徒研究発表会	神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会の開催を支援した。11 団体発表。	青少年 一般	80人
	(ｲ)青少年科学体験支援事業	かながわリレー科学教室	移動科学講座として、おもしろ実験・科学工作教室を７か所 10 回開催した。	小学生 保護者等	372人 (内小学生226人)
		依頼団体科学教室	学校や公民館等からの依頼により、実験ショー、科学工作教室等を県内各所で 10 回実施した。	小学生 保護者等	596人 (内小学生459人)
		ロボットプログラム	自律型ロボットのプログラミングから機構について課題解決型で学習する講座として【ものをはさんで運ぼう】【センサーで見つけよう】【ロボットで対戦しよう】の３つのテーマで計 24 回計画したが、応募がなく１回中止、計 23 回実施した。	小学３～６年生 中学生 保護者等	472人 (内小中学生250人)
		自然観察会	動植物や地形の自然観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等の見学を県内４か所(５回)で、実施した。	小学生以上	75人
		子ども科学講座	身近に起こる科学現象のしくみや性質を、体験しながら学ぶ講座を 12 回実施した。	小学生 保護者等	359人 (内小中学生177人)
		子ども施設指導員セミナー(一部再掲)	指導者育成課の事業協力として科学工作、簡単な科学実験等を紹介する講座を３回実施した	一般	63人
		その他（共催事業）	指導者育成課との事業協力として２回（一部再掲），ロボットゆうえんちとの共催で ROBO-ONE、ROBO-剣を各１回,日本技術士会との共催で理科教室他を３回、神奈川工科大学と共催でロボットプログラムスペシャルを２回開催した。	青少年 一般	234人
	(ｳ)ものづくり子どもサイエンス事業	プチロボで競走しよう	走行型プチロボットを自作し、コースを走行させて競走する講座を、県内 15 か所で 15 回実施した。	小学３～６年生 保護者等	507人 (内小学生267人)
		ものづくり体験教室	身近な材料を使用したものづくりを体験することにより、科学現象の原理について学ぶ講座を８回実施した。	小学生 （一部中３まで） 保護者等	215人 (内小中学生116人)

区分	事業名	概　　要	参加者	参加者数
ウ　科学技術系人材育成事業				
(ｱ)青少年科学人材育成事業	小学生科学研究クラブ	自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブ活動を１講座５回実施した。	小学４～６年生 保護者等	94人 （内小学生44人）
	子ども科学探検隊	県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を 16 回開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため１回中止、15 回実施した。	小学４～６年生	292人 （内小学生154人）
	中高生サイエンスキャリアプログラム	県内科学館・大学・研究施設を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め技術者・研究者としての職業観を育成する講座を 11 回実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止や先方都合のため９回中止、受講者無しで１回中止、実施は１回だった。	中学生・高校生 一般	173人 （内中高生128人）
	高校生天文講座	天文施設見学も交えて、天体観測の基礎から最新観測法までを学ぶ講座を１講座 11 回実施した。	高校生	受講人数 13人 （延100人 修了証９人）
	高校生科学ボランティア	青少年センター科学体験事業にボランティアスタッフとして参加する生徒募集を行った。開講式後、ボランティア活動開始した。年度末には活動証明書の発行を行った。	高校生	54人登録 延53講座 延233人 活動証明書 54人
(ｲ)科学体験指導者育成事業	おもしろ実験・科学工作指導者セミナー	子どもたちに科学実験・科学工作を指導できる指導者を育成するため、５日間の講座を２コース開催した。	一般	受講人数 15人 （延66人 修了証13人）
	天文研究クラブ	高校生天文講座の修了者や一般の方を対象に、天体写真や画像処理についての講座を６回実施した。	高校生以上 ～　一般	28人
(ｳ)理科教育人材育成事業	教員研修科学講座	総合教育センターとの連携により、教員を対象に、５講座を実施した。	教職員	54人
	依頼型教員研修講座	市町村の教育委員会等から依頼のあった３回についてそれぞれ実施した。	教職員	50人
	小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携事業）	小学校教員養成課程を持つ大学との連携事業として、理科実験に関する講座を２講座開講した。	大学生	51人
	インターンシップ、社会体験研修受入れ等	高校生の社会体験研修を１人（３日間）受け入れた。	高校生	１人

区分	事業名	概　　要	参加者	参加者数
エ　先端科学連携体験事業				
(ｱ)先端科学企業等体験（カナラボ）	先端科学企業等体験（カナラボ）	企業や大学などから講師を招き、講義と実習を通して、先端科学技術に触れる講座を、３回実施した。	中高校生	23人
(ｲ)青少年のためのロボフェスタ2022	青少年のためのロボフェスタ2022	「さがみロボット産業特区」関連事業との位置づけで、企業・研究機関・大学・高校等によるブースの出展によりロボットの楽しさを体験してもらう祭典を開催予定であったが、ホール改修のため中止。	青少年 一般	－
(ｳ)高校生実験・実習講座	高校生実験･実習講座	高校では取り扱わないような生徒の科学への興味関心を高めるテーマを選び、３回実施した。	高校生	32人

各事業の内容は次のとおりである。

ア　科学活動情報発信事業

青少年の科学活動を促進、支援するための科学情報を提供した。

(ｱ) インターネット科学館

科学支援課の事業の広報とあわせて、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会との連携により得た科学関係の催し物の情報や、天文関係の資料等をホームページで提供した。

ホームページアクセス回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
1,658	2,359	3,229	3,961	2,458	1,778	24,050 R３年度 (19,322)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1,264	1,486	1,385	1,416	1,454	1,605	

※旧インターネット科学館は令和４年4月から10月までで　4,929件

(ｲ) 科学相談

科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談を受け付けた。また科学体験機材の貸出や科学体験室を活用した研究等を支援した。

・17件41人
来館利用1件1人、電話8件8人、物品貸出6件6人、体験室貸出1件25人、メール１件1人

イ　科学活動普及・啓発事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起するため、イベント系啓発事業や体験講座を企画・運営・実施した。また、青少年による作品展や研究発表会を支援した。

(ｱ) 青少年科学活動啓発事業

ａ　子どもサイエンスフェスティバル（主催：子どもサイエンスフェスティバル実行委員会）

回数	実施日	会　場		参加人数
1	11月12日(土)	厚　木	青少年センター科学部、プロミティ厚木大ホール	117 人
2	12月17日(土)	横須賀	横須賀市生涯学習センターまなびかん	83 人
3	１月21日(土)	平　塚	平塚市青少年会館	153 人
4	２月４日(土)	相模原	相模原市立青少年学習センター	154 人

（出展者、アシスタント含む）

b　青少年のための科学の祭典２０２２神奈川大会

（共催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

実施日	会　場	参加人数
８月７日(日)	神奈川県立青少年センター（紅葉ケ丘）	225 人

c　星空教室（定員各44名）新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を削減した

※青少年センター工事のため4月～9月の実施

回数	実施日	内　容	参加人数
1	４月９日(土)	月齢８の月と春の散開星団	39 人
2	４月10日(日)	月齢９の月と春の散開星団	44 人
3	５月４日(水)	月齢３の月と水星	42 人
4	５月７日(土)	月齢６の月と水星	雨天中止
5	６月４日(土)	月齢５の月と春の二重星	40 人
6	６月11日(土)	月齢12の月と春の二重星	雨天中止
7	７月２日(土)	月齢３の月と七夕の星	37 人
8	７月９日(土)	月齢10の月と七夕の星	41 人
9	８月４日(木)	月齢６の月と夏の大三角	雨天中止
10	８月５日(金)	月齢７の月と夏の大三角	曇天中止
11	８月10日(水)	月齢12の月と夏の大三角	40 人
12	９月３日(土)	月齢７の月と土星	雨天中止
13	９月４日(日)	月齢８の月と土星	42 人

（アシスタントスタッフ延べ13人含む）

d　科学講演会

「ボーイスカウトとアマチュア無線～アマチュア無線を通じた青少年支援～」

講師：岩崎　誠司　氏

（日本技術士会神奈川県支部　科学技術振興支援小委員会　所属）

※青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて実施した。

実施日	会　場	参加人数
３月３日(金)	スタジオ　HIKARI	21 人

e　日本学生科学賞神奈川県作品展

期　間	内　容
10月12日(水)～18日(火) 初日、月曜を除く５日間	出展数116点　見学者総数400人 県知事賞２点、教育長賞２点、館長賞１点、他特別賞５点、学校賞１点、入賞19点

f　神奈川県高等学校総合文化祭理科部研究発表大会

期　間	内　容
11月３日(木・祝)	発表22 団体14　参加者総数136人　(高校生104人、一般32人)

(前日準備６人含む)

g　神奈川県工業高等学校生徒研究発表会

実施日	会　場	参加人数
1月 18 日(水)	神奈川総合産業高等学校	80 人

(ｲ) 青少年科学体験支援事業

a　かながわリレー科学教室（おもしろ実験・科学工作教室）

回数	実施日	会　場		参加人数
1	６月４日(土)	厚　木	青少年センター科学部	35人
2	６月25日(土)	鎌　倉	鎌倉青少年会館	33人
3	７月10日(土)	松　田	松田町生涯学習センター	26人
4	７月16日(土)	大　磯	大磯町生涯学習館	31人
5	８月20日(土)	秦　野	秦野市立大根公民館	47人
6	８月27日(土)	湯河原	湯河原町立図書館	43人
7	９月11日(日)	川　崎	かわさき宙と緑の科学館	26人
8	11月26日(土)	横　浜	青少年センター（桜木町）	35人
9	12月11日(日)	厚　木	青少年センター科学部	44人
10	１月29日(日)	横　浜	青少年センター（桜木町）	52人

(指導者セミナー修了者、高校生科学ボランティア延べ44人含む)

b　依頼団体科学教室

回数	実施日	会　場　(内　容)	参加人数
1	８月14日(日)	座間市公民館	11人
2	８月24日(水)	大和市立林間小学校　寺子屋やまと	244人
3	９月30日(金)	座間市青少年センター	35人
4	11月５日(土)	子ども会連合会	20人

回数	実施日	会　場　(内　容)	参加人数
5	12月４日(日)	大和　冬のおもしろ科学館2022	121人
6	12月10日(土)	希望ヶ丘高校	39人
7	12月16日(金)	厚木市子ども科学館　サイエンスウィンター	40人
8	１月14日(土)	開成町民センター	21人
9	１月21日(土)	横浜市たまプラーザ地域ケアプラザ	23人
10	３月５日(日)	座間市青少年センター	42人

c　ロボットプログラム（定員各16人）

(a) ロボットプログラム　小学生の部　特別講座（昨年度実施できなかった振替講座）

回数	実施日	会　場	参加人数	
			小学生	その他
1	６月18日(土)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	12人	10人
2	６月18日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	15人	９人
3	８月27日(土)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	15人	14人
4	８月27日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	15人	15人
5	12月10日(土)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	10人	10人
6	12月10日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	11人	9人

（高校生科学ボランティア延べ10人含む）

(b) ロボットプログラム　小学生の部　【センサーで見つけよう】

回数	実施日	会　場	参加人数	
			小学生	その他
1	７月９日(土)	青少年センター　(横浜)（ 9：30～11：30）	15人	12人
2	７月９日(土)	青少年センター　(横浜)（13：30～15：30）	15人	９人
3	９月17日(土)	青少年センター　(横浜)（ 9：30～11：30）	10人	９人
4	９月17日(土)	青少年センター　(横浜)（13：30～15：30）	９人	９人
5	12月３日(土)	青少年センター　(横浜)（ 9：30～11：30）	６人	８人
6	12月３日(土)	青少年センター　(横浜)（13：30～15：30）	８人	10人
7	２月25日(土)	青少年センター　(横浜)（ 9：30～11：30）	９人	９人

回数	実施日	会　場	参加人数	
			小学生	その他
8	２月25日(土)	青少年センター　(横浜)（13：30～15：30）	６人	５人

（高校生科学ボランティア延べ12人含む）

(c) ロボットプログラム　小学生の部　【ロボットで対戦しよう】

回数	実施日	会　場	参加人数	
			小学生	その他
1	９月３日(土)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	12人	12人
2	９月３日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	14人	９人
3	11月13日(日)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	12人	10人
4	11月13日(日)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	12人	12人
5	１月15日(日)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	11人	12人
6	１月15日(日)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	８人	９人

（高校生科学ボランティア延べ14人含む）

(d) ロボットプログラム　中学生の部　【ものをはさんで運ぼう】

回数	実施日	会　場	参加人数	
			小学生	その他
1	７月10日(土)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	12人	２人
2	９月25日(土)	青少年センター 科学部（ 9：30～11：30）	９人	10人

（高校生科学ボランティア延べ３人含む）

(e) ロボットプログラム　中学生の部　【ロボットで対戦しよう】

回数	実施日	会　場	参加人数	
			中学生	その他
1	９月４日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	４人	８人
2	10月16日(土)	青少年センター 科学部（13：30～15：30）	０人	０人

※第2回（10月16日）は応募者なしのため中止　（高校生科学ボランティア延べ３人含む）

d　自然観察会

回数	実施日	会　場	内　容	参加人数
1	７月３日(日)	午前　天神島(横須賀市)	磯の生き物や地層の観察	13人
2	７月３日(日)	午後　天神島(横須賀市)	磯の生き物や地層の観察	20人
3	９月10日(土)	鶴見川流域センター周辺	川魚の観察、遊水地の学習	18人
4	10月23日(日)	県立座間谷戸山公園	どんぐり採集、分類・工作	11人
5	12月４日(日)	鶴見川流域センター周辺	野鳥観察、遊水地の学習	13人

e　子ども科学講座（小学生対象　定員各24名　ただし、＊小４～中３対象）

回数	実施日	内　容	参加人数
1	５月３日(祝)	午前　春の科学まつり	47人
2	５月３日(祝)	午後　春の科学まつり	39人
3	５月５日(土)	午前　子ども科学館まつり（厚木市こども科学館）	21人
4	５月５日(土)	午後　子ども科学館まつり（厚木市こども科学館）	18人
5	７月24日(日)	午前　顕微鏡で観察しよう	21人
6	７月24日(日)	午後　顕微鏡で観察しよう	15人
7	７月30日(土)	午前　音と光のふしぎ	42人
8	７月30日(土)	午前　音と光のふしぎ	30人
9	８月11日(木)	＊DNAを発見しよう	41人
10	８月18日(木)	色の科学実験	21人
11	11月20日(日)	午前　電気と磁石のふしぎ	35人
12	11月20日(日)	午後　電気と磁石のふしぎ	29人

（高校生科学ボランティア延べ24人含む）

ｆ　子ども施設指導員セミナー（指導者育成課事業の一部）

回数	実施日	会　場	参加人数
1	６月18日(土)	愛川町教育委員会	18人
2	11月５日(土)	青少年センター科学部（神奈川県子ども会連合会 指導者研修）	18人
3	２月22日(水)	大和市桜丘学習センター（大和市子ども会連絡協議会）	18人

ｇ　その他（共催事業）

回数	実施日	会　場	参加人数
1	７月３日(日)	ROBO-ONE　カンファレンス	70人
2	７月６日(水)	子ども施設指導員セミナー（育成課共催　一部再掲）	44人
3	８月13日(土)	日本技術士会　　夏休み理科教室	8人
4	８月21日(日)	日本技術士会　　夏休み理科教室	20人
5	９月11日(日)	日本技術士会　　サイエンスカフェ	16人
6	10月22日(土)	神奈川工科大学　ロボットプログラムスペシャル講座	20人
7	10月28日(金)	子ども施設指導員セミナー（育成課共催　一部再掲）	19人
8	11月19日(土)	ROBO-剣	37人

(ｳ) ものづくり子どもサイエンス事業

ものづくり関係講座、ロボット関連事業を提供した。

ａ　プチロボで競走しよう大会

回数	実施日	会　場		参加人数	
				小学生	その他
1	６月12日(日)	座間	座間市青少年センター	24人	19人
2	６月26日(日)	藤沢	湘南台文化センターこども館	20人	22人
3	７月17日(日)	厚木・夏	青少年センター科学部	15人	14人
4	７月28日(木)	小田原	小田原市生涯学習センターけやき	23人	29人
5	８月10日(水)	伊勢原	伊勢原市立子ども科学館	15人	２人
6	８月17日(水)	二宮	二宮町立生涯学習センターラディアン	24人	22人

回数	実施日	会　場		参加人数	
				小学生	その他
7	８月21日(日)	秦野	秦野市立大根公民館	23人	22人
8	８月28日(日)	湯河原	湯河原町防災コミュニティセンター	20人	20人
9	９月18日(日)	川崎･多摩	かわさき宙と緑の科学館	14人	18人
10	10月８日(土)	横浜	青少年センター(紅葉ケ丘)	17人	20人
11	10月22日(土)	大和	大和市文化創造拠点シリウス	24人	６人
12	11月５日(土)	川崎･幸	東芝未来科学館	10人	10人
13	11月23日(祝)	厚木･冬	青少年センター科学部	15人	16人
14	12月18日(日)	横浜･磯子	磯子工業高校	11人	1人
15	３月18日(日)	厚木･特別	青少年センター科学部	12人	８人

(指導者セミナー修了者延べ35人、高校生科学ボランティア延べ36人含む)

b　ものづくり体験教室　(＊小３～６対象　＄小１～２と保護者等、他は小学生対象)

回数	実施日	内　容	参加人数	
			小中学生	その他
1	10月１日(土)	海の小さな生き物でつくる標本	７人	７人
2	10月29日(土)	ゴムCARで競走しよう	７人	７人
3	11月27日(日)	ロケットをつくろう	15人	16人
4	12月４日(日)	クリスマスリースをつくろう	20人	16人
5	12月25日(日)	お正月の工作	17人	15人
6	２月12日(日)	ウィンドカーをつくろう	19人	12人
7	２月26日(日)	電気を流すものをしらべよう	22人	21人
8	３月５日(日)	光テルミンをつくろう	９人	５人

(高校生科学ボランティア延べ 11 人含む)

ウ　科学技術系人材育成事業

青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、次世代の科学技術を担う人材の育成や、科学体験活動指導者の育成事業を実施した。

(ｱ) 青少年科学人材育成事業

a　小学生科学研究クラブ（１コース６回、定員12名）

回数	実施日	内　容	参加人数	
			小学生	その他
1	７月10日(土)	オリエンテーション、研究テーマ決定	10人	10人
2	７月31日(土)	研究活動	８人	10人
3	８月１日(日)	研究活動	９人	９人
4	８月９日(火)	研究活動	９人	９人
5	８月16日(火)	研究活動	９人	10人
6	８月20日(土)	研究発表会	８人	11人

※第６回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

b　子ども科学探検隊（主催：神奈川県青少年科学体験活動推進協議会）

回数	実施日	内　容	参加人数	
			小中学生	その他
1	７月２日(土)	北里大学	11人	９人
2	７月16日(土)	はまぎんこども宇宙科学館	11人	４人
3	７月23日(火)	神奈川工科大学	７人	６人
4	７月26日(火)	青山学院大学工学部 相模原キャンパス	８人	６人
5	８月２日(土)	野毛山動物園	７人	０人
6	８月４日(日)	鶴見大学	０人	０人
7	８月10日(土)	東芝未来科学館	13人	14人
8	８月17日(日)	神奈川県環境科学センター	７人	５人
9	８月19日(土)	三菱みなとみらい技術館	12人	９人
10	８月26日(土)	湘南工科大学	８人	10人
11	８月27日(土)	東海大学	21人	29人

回数	実施日	内　容	参加人数	
			小中学生	その他
12	８月28日(日)	鎌倉女子大学　教育学部①	15人	19人
13	８月30日(火)	鎌倉女子大学　教育学部②	８人	６人
14	９月10日(土)	麻布大学	８人	12人
15	９月24日(土)	横浜市金沢動物園	８人	０人
16	10月１日(土)	伊勢原市立子ども科学館	10人	10人

※第６回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

c　中高生サイエンスキャリアプログラム

回数	実施日	訪問施設	参加人数	
			中高学生	保護者 (含弟妹)
1	７月３日(日)	鎌倉女子大学　家政学部	４人	１人
2	７月17日(日)	午前　北里大学	７人	０人
3	７月17日(日)	午後　北里大学	８人	０人
4	７月23日(土)	神奈川工科大学	６人	５人
5	７月29日(金)	青山学院大学 相模原キャンパス	14人	２人
6	７月30日(土)	鎌倉女子大学　教育学部	14人	２人
7	８月２日(火)	青少年センター科学部	８人	２人
8	８月３日(水)	三菱みなとみらい技術館	14人	０人
9	８月４日(木)	ミツトヨ測定博物館	８人	０人
10	８月12日(金)	東芝未来科学館	16人	13人
11	８月27日(土)	湘南工科大学	13人	12人
12	９月17日(土)	東京都市大学	11人	９人
13	10月15日(土)	日本技術士会神奈川県支部（厚木）	５人	１人

d　高校生天文講座（１コース10回、定員15人）

回数	実施日	内　容	参加人数
1	７月23日（土）	開講式とガイダンス、天体望遠鏡の使い方Ⅰ	10人
2	７月30日（金）	天体望遠鏡の使い方Ⅱ	12人
3	８月20日（土）	天体観測法Ⅰ	９人
4	９月10日（土）	天体観測法Ⅱ	10人
5	９月17日（土）	天体観測法Ⅲ	12人
6	10月29日（土）	天体観測法Ⅳ	10人
7	11月12日（土）	天体観測法Ⅴ	11人
8	11月19日（土）	画像処理講座Ⅰ	４人
9	12月17日（土）	画像処理講座Ⅱ	９人
10	１月14日（土）	画像処理講座Ⅲ、振り返り会の資料作成	５人
11	２月５日（日）	振り返り会、修了式（９名修了）	８人

e　高校生科学ボランティア　登録54人　延べ53講座 233活動　活動証明書発行54人

実施日		内　容	参加人数
６月11日（土）		オリエンテーション①	12人
６月19日（日）		オリエンテーション②	42人
1	７月16日（土）	リレー科学教室（大磯）　講座補助	３人
2	７月17日（日）	プチロボ（厚木）　講座補助	３人
3	７月24日（日）	顕微鏡で観察しよう 午前　講座補助	３人
4	７月24日（日）	顕微鏡で観察しよう 午後　講座補助	３人
5	７月28日（木）	プチロボ（小田原）　講座補助	５人
6	７月30日（土）	音と光のふしぎ 午前　講座補助	３人
7	７月30日（土）	音と光のふしぎ 午後　講座補助	３人
8	８月６日（土）	青少年のための科学の祭典2022　準備	12人
9	８月７日（日）	青少年のための科学の祭典2022　補助	12人
10	８月11日（木）	DNAを発見しよう　講座補助	３人
11	８月12日（金	講座開発と準備①	７人
12	８月17日（水）	プチロボ（二宮）　講座補助	４人

実施日		内　容	参加人数
13	８月18日(木)	色の科学実験　講座補助	３人
14	８月19日(金)	講座開発と準備②	７人
15	８月20日(土)	リレー科学教室（秦野）　講座補助	３人
16	８月21日(日)	プチロボ（秦野）　講座補助	５人
17	８月27日(土)	リレー科学教室（湯河原）　講座補助	２人
18	８月27日(土)	ロボットプログラム 午前　講座補助	３人
19	８月27日(土)	ロボットプログラム 午後　講座補助	３人
20	８月28日(日)	プチロボ（湯河原）　講座補助	４人
21	９月４日(日)	ロボットプログラム　講座補助	３人
22	９月11日(日)	リレー科学教室（川崎）　講座補助	３人
23	９月17日(土)	ロボットプログラム 午前　講座補助	３人
24	９月17日(土)	ロボットプログラム 午後　講座補助	３人
25	９月18日(日)	プチロボ（川崎・多摩）　講座補助	４人
26	９月25日(日)	ロボットプログラム　講座補助	３人
27	10月１日(土)	海の小さな生き物でつくる標本　講座補助	３人
28	10月８日(土)	プチロボ（横浜）　講座補助	３人
29	10月22日(土)	プチロボ（大和）　講座補助	３人
30	10月29日(土)	ゴムCARで競走しよう 講座補助	２人
31	11月５日(土)	プチロボ（川崎・幸）　講座補助	２人
32	11月12日(土)	こどもサイエンスフェスティバル（横須賀）補助	５人
33	11月13日(日)	ロボットプログラム 午前　講座補助	３人
34	11月13日(日)	ロボットプログラム 午後　講座補助	３人
35	11月20日(日)	電気と磁石のふしぎ 午前　講座補助	３人
36	11月20日(日)	電気と磁石のふしぎ 午後　講座補助	３人
37	11月23日(祝)	プチロボ（厚木・冬）　講座補助	３人
38	11月26日(土)	リレー科学教室（横浜）　講座補助	１人
39	11月27日(日)	ロケットをつくろう　講座補助	４人
40	12月３日(土)	ロボットプログラム 午前　講座補助	３人
41	12月３日(土)	ロボットプログラム 午後　講座補助	３人

実施日		内　容	参加人数
42	12月10日(土)	ロボットプログラム 午前　講座補助	２人
43	12月10日(土)	ロボットプログラム 午後　講座補助	２人
44	12月11日(日)	リレー科学教室（厚木）　講座補助	２人
45	12月17日(土)	こどもサイエンスフェスティバル（横須賀）補助	６人
46	12月25日(日)	お正月の工作　講座補助	２人
47	１月15日(日)	ロボットプログラム 午前　講座補助	４人
48	１月15日(日)	ロボットプログラム 午後　講座補助	４人
49	１月21日(土)	こどもサイエンスフェスティバル（平塚）補助	３人

(ｲ) 科学体験指導者育成事業

ａ　おもしろ実験・科学工作指導者セミナー(各コース定員15人、５日間)

回数	水曜日コース	日曜日コース	内　　容	参加人数
1	10月５日(水)	10月２日(日)	開講式、科学工作ワークショップ	13人
2	10月12日(水)	10月９日(日)	おもしろ実験ショーの練習	14人
3	10月19日(水)	10月23日(日)	おもしろ実験ショーの練習　プチロボ紹介	13人
4	10月26日(水)	10月30日(日)	講義：演技の仕方と表現法、練習	13人
5	11月２日(水)	11月６日(日)	発表に向けての練習・準備	13人

修了者　13人

ｂ　天文研究クラブ（年間６回、定員15人）

回数	実施日	内　容	参加人数
1	５月21日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	３人
2	７月16日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	２人
3	９月24日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	６人
4	11月５日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	６人
5	１月７日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	５人
6	３月18日(土)	天体観測、撮影方法研究、相互講評、情報交換等	６人

(ｳ) 理科教育人材育成事業

a　教員研修科学講座（総合教育センター連携研修講座）

回数	実施日	内　容	参加人数
1	７月22日(金)	ロボットプログラミング講座(基礎)	15人
2	７月26日(火)	ロボットプログラミング講座(発展)	13人
3	７月27日(水)	身近な素材で工作・実験（物理分野）	14人
4	７月28日(木)	授業に役立つ化学実験（安全な実験）	10人
5	７月29日(金)	授業に役立つ生物実験（身近な生き物の観察）	２人

b　依頼型教員研修講座

回数	実施日	内　容	参加人数
1	６月18日(土)	愛川町教育委員会、実験安全、科学工作	18人
2	６月22日(水)	大和市教育委員会教員研修①、実験安全、科学工作	19人
3	６月25日(金)	大和市教育委員会教員研修②、実験安全、科学工作	13人

c　小学校教員養成課程学生対象講座（大学連携支援事業）

回数	実施日	内　容	参加人数
1	２月10日(金)	鎌倉女子大学（小学校理科の実験講座　生活、生物分野）	27人
2	２月10日(金)	鎌倉女子大学（小学校理科の実験講座　物理、地学分野）	24人

d　社会体験研修受入

※令和４年度は受け入れなし

e　インターンシップ

期　間	対　象	参加人数
8月17日(水) ～19日(金)	高校生	１人

エ　先端科学連携体験事業

(ｱ) 先端科学企業等体験会（カナラボ）

回数	実施日	内　容	参加人数
1	12月10日（土）	絶滅危惧種ムラサキと生薬紫根を知る	７人
2	12月17日（土）	バクテリアの観察と同定	７人
3	１月21日（土）	簡易操縦型ロボットの製作	９人

(ｲ) 青少年のためのロボフェスタ２０２２

（主催：神奈川県青少年のためのロボフェスタ運営委員会）

※　11月20日（日）に予定していたが青少年センター工事のため中止

(ｳ) 高校生実験・実習講座

回数	実施日	内　容	参加人数
1	２月11日（土）	物理分野	11人
2	２月18日（土）	化学分野	９人
3	２月19日（日）	生物分野	12人

（５）ホール等の運営

区分	事業名	概　　要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
ア　共催・後援事業				
	共催事業	青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催することにより一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。	一般	1,306 人
	後援事業		一般	308人
イ　ホール等の運営				
	ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し	県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。	一般	3,702 人

以下の事業は、平成 30 年度より文化課へ移管し、実施した。

青少年や県民の舞台芸術活動への支援

児童文化活動支援として、人形劇などの児童文化活動を行っているグループの成果発表や相互交流事業を実施し、また、青少年の舞台芸術活動と県民の芸術文化の振興を図るため、優れた舞台芸術（演劇、舞踊等）の鑑賞事業及び演劇・創作舞踊の講習会、発表会等の創造活動事業、「舞台表現エンパワーメント・プロジェクト」によるアウトリーチや少人数対象のワークショップ事業を実施した（一部中止）。

さらに、青少年センターにおける舞台芸術機能の強化・充実を図るため、平成 30 年度から開始した以下の取組みを実施した。

- マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して上演作品の質的向上を図る「マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業」を実施した。
- 令和３年度から、マグカルシアターの上演団体に選出された団体の中から、特に優良な団体を対象としたステップアップ公演を実施した（令和４年度は、出演者の新型コロナウイルス感染のため中止）。

また、伝統芸能等普及振興のため、歌舞伎鑑賞教室、人形浄瑠璃文楽、かながわ伝統文化こども歳時記を実施した。

その一方で、県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や練習場所を提供している。令和４年度についてはホール天井改修工事のため、従来ホールで実施している事業を県内各地の代替会場で行った。

区分	事業名	概　　要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
ウ　青少年舞台芸術活動推進事業				
(ｱ)児童文化活動推進事業	かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。	幼児･小学生、その保護者など	372人
(ｲ)青少年舞台芸術等鑑賞事業	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施。	青少年及び一般	168人 ダンスアンサンブル出演 12人
(ｳ)演劇舞踊等創造活動事業	中･高等学校演劇発表会	中･高等学校を対象に、演劇の発表会を実施。	中学生	967人
			高校生	1,103人
	中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施。	中学生	323人
	中･高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	中学生	421人
			高校生及び教員	277人
	青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施。	中学生以上及び教員	2,060人
	青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施。	中学生以上及び教員	239人
(ｴ) 舞台表現エンパワーメント･プロジェクト	演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施。	中学校の演劇部	179人
			高等学校の演劇部	38人
	青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	中高生向けの３つの先端的なワークショッププログラム（演出、舞台美術、ダンス振付）を実施することで、時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資した。	中学生、高校生	49人
	ダンスの心技体＋創	高校ダンス部対象のストリートダンスのワークショップを実施した。	高校ダンス部	20人

区分	事業名	概　　要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
(ｵ)舞台芸術を活用した青少年活動支援事業		「横浜紅葉ケ丘まいらん春祭り」において、伝統人形芝居である乙女文楽のミニ公演を行った後、気楽に親子で楽しめる人形や義太夫節の語りと三味線のワークショップを実施した。	青少年、一般	53人
エ　マグネット・カルチャー推進事業				
(ｱ)マグカルシアター	マグカルシアター「青少年のための芝居塾」	神奈川県演劇連盟に所属する担当劇団と広く一般から募った青少年が、キャストだけでなく舞台美術や照明、大道具・小道具から制作にいたるまで共に芝居づくりを行い、その成果をホール等で発表。	高校生～29歳以下の者	27人
	上記公演		一般	出演者の新型コロナ感染により中止
	マグカルシアター	演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所としてスタジオＨＩＫＡＲＩ（多目的プラザ）を約１週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指した。	青少年、一般	4,383人
	マグカル・ハイスクール演劇フェスタ	「神奈川県高等学校演劇発表会」で最優秀賞など優れた成績を修めた高校演劇を上演し、広く県民に紹介することで、学校演劇の発展向上と演劇文化の振興に資した。	青少年、一般	ホール天井工事のため実施なし
オ　青少年舞台芸術活動推進事業（機能強化）				
(ｱ) マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業		マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	マグカルシアターに出演が決定した団体等	99団体 1,440人
ステップアップ公演事業		マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。	青少年、一般	出演者の新型コロナ感染により中止
カ　伝統芸能等普及振興事業				
(ｱ)かながわ伝統芸能祭	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	青少年、一般	703 人

区分	事業名	概　　要	鑑賞(参加)対象	観客(参加者)数
	人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	青少年、一般	652人
	かながわ伝統文化こども歳時記	地域の伝統文化に親しんでいただくことを目的に、子どもや親子を対象として体験型の企画を盛り込んだフェスティバル事業を実施した。	子ども、青少年、一般	909人

各事業の内容は次のとおりである。

ア　共催、後援事業

青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、青少年センターが共催、後援することにより、一層その成果を高めることができる次の事業を、共催者、後援者として実施した。

(ｱ)　共催事業

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
６月11日(土)	令和４年度　第１回教育委員会とフリースクール等による不登校相談会（※１）	神奈川県学校・フリースクール等連携協議会 神奈川県教育委員会	183人
８月９日(火) ～10日(水)	日本舞踊に学ぶ“和”の作法	神奈川県国際文化観光局文化課	50人
９月３日(土)	令和４年度　不登校児童・生徒、高校中退者等のための不登校相談会・進路情報説明会（※１）	神奈川県学校・フリースクール等連携協議会 神奈川県教育委員会 横浜子ども支援協議会	129人
９月10日(土)	フリ・フリ・フェスタ	フリ・フリ・フェスタ実行委員会	延717人
９月25日(日)	中学生の主張作文コンクール	神奈川県、独立行政法人国立青少年教育振興機構	55人
11月３日 (木・祝)	神奈川県高等学校総合文化祭　第33回高等学校理科部研究発表大会(※２)	神奈川県高等学校文化連盟理科専門部会	109人
11月19日(土)	ROBO－ONE剣道及びROBO－剣(※２)	一般社団法人二足歩行ロボット協会	35人
11月26日(土) ～27日(日)	第22回手づくり紙芝居コンクール	紙芝居文化推進協議会	228人
１月19日(木) ～22日(日)	2022年度神奈川県演劇連盟合同公演	神奈川県演劇連盟	367人
２月４日(土) ～５日(日)	第61回神奈川県児童福祉施設作品展	神奈川県児童福祉文化体育協会	218人
３月４日(土)	かながわ能楽ワークショップ	神奈川県、（公財）鎌倉能舞台	35人

※１：青少年サポート課関連事業　　※２：科学部関連事業

(ｲ)　後援事業

実施日	事業名	主催者	観客 (参加者)数
４月10日(日) ～３月５日(日)	青少年のための日本舞踊講座	(公社)日本舞踊協会 神奈川県支部	308人

イ　ホール等の運営

県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供した。

利用者の状況（主催、共催事業を除く。）　（単位：人）

区　分	演劇関係	舞踊関係	音楽関係	講演･式典等	計
ホール	0	0	0	0	0
多目的プラザ	152	794	0	13	959
練習室	305	2,384	54	0	2,743
合　計	457	3,178	54	13	3,702

以下の事業は、文化課へと移管され実施されている。

ウ　青少年舞台芸術活動推進事業

(ｱ) 児童文化活動推進事業

児童の豊かな情操と想像力を育む事業を実施し、児童文化活動の促進を図った。

・　かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）

地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	回数	観客(参加者)数
２月18日(土) ～19日(日)	第39回かながわ人形劇フェスティバル 人形劇「きかんぼひよこツピティー」他８演目 出演：９団体 講師：月永　勉（デザインルーム美研主宰） 川尻　麻美夏（人形劇団プーク　俳優） 会場：青少年センタースタジオHIKARI	幼児・小学生、その保護者など申込者	４回	372人

(ｲ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業

青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、青少年芸術劇場を実施した（会場：スタジオHIKARI)。

実施日	内容　・　講師等	対　象	観客(参加者)数
７月22日(金) ～24日(日) ５回公演	第307回神奈川県青少年芸術劇場 ニブロール『距離のない旅』 演出・振付：矢内原　美邦 会場　　：青少年センター交流スペース、 ２Ｆバルコニー、スタジオHIKARI	青少年及び一般	168人 ダンスアンサンブル出演　12人

(ｳ) 演劇舞踊等創造活動事業

青少年が日頃行っている芸術創造活動の成果を発表する場を提供するほか、創造活動を支援するための講習会を開催するとともに、演劇指導者を対象に、演劇を制作する過程で必要なノウハウを習得する機会を提供した。

a　中・高等学校演劇発表会

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
12月10日(土) 11 日(日)	第60回神奈川県中学校演劇発表会 出演：県内中学校14校 講師：井上　学（劇作家・演出家） 波田野淳紘（劇作家、演出家、劇団820製作所主宰） 山下　秀光（表現教育インストラクター） 会場：藤沢市民会館大ホール	中学生	967 人
11月19日(土) 20日(日)	第61回神奈川県高等学校演劇発表会 出演：県内6地区代表12校 講師：横内　謙介（演出家、劇作家、劇団扉座主宰） 七味まゆ味（俳優、演出家、劇団柿喰う客所属） 齋藤　卓己（工学院大学附属中学校・高等学校教諭、演劇部顧問） 会場：厚木市文化会館大ホール	高校生	1,103人

b　中学校創作劇発表会

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
８月５日(金)	第17回神奈川県中学校創作劇発表会 出演：７校 講師：斉藤　俊雄（劇作家、久喜市立太東中学校教諭） 坂本　鈴（劇作家） 会場：小田原三の丸ホール大ホール	中学生	323 人

c　中・高等学校演劇講習会

中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
８月６日(土) ７日（日）	第58回神奈川県中学校演劇講習会 参加：30校 ダンス、即興、グループ創作、朗読劇、脚本づくり及び意見交換（同内容を２日間で４回実施） 会場：小田原三の丸ホール （大ホール、小ホール、スタジオ、展示室）	中学生	421 人

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
7月30日(金) 31日(土)	第58回神奈川県高等学校演劇講習会 参加：58校 演技基礎、身体表現、演劇相談室、演劇発展、脚本講座（２日間で３回実施） 会場：小田原三の丸ホール （大ホール、小ホール、スタジオ、展示室）	高校生	277人

d　青少年ダンス発表会

表現芸術の充実と向上を図ることを目的にダンス発表会を実施した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
11月３日 （木・祝）	第57回神奈川県青少年ダンス発表会 出演者：中・高等学校・大学等41校(団体) 会　場：KAAT神奈川芸術劇場ホール	中学生以上及び教員	2,060人

e　青少年ダンス講習会

青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
8月10日(水) 11日(木)	第48回神奈川県青少年ダンス講習会 講師：中村　蓉（振付家、ダンサー） 北尾　亘（振付家、ダンサー、俳優） （同内容を２日間で４回実施） 会場：茅ヶ崎市民会館大ホール	中学生以上及び教員	264人

(ｴ) 舞台表現エンパワーメント・プロジェクト

これまでの中高生向けの講習会や発表会でのプログラムを補完するプログラムを、第一線で活躍する講師陣により開催した。一部プログラムをアウトリーチ（県域）で実施した。

a　演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」

中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施した。

実施日	内容　・　講師等	場　所	対　象	参加者数
1月21日(土)	演劇部お助け講座（中学生対象） 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	学校法人桐光学園	中学校の演劇部	59人
2月26日(日)	演劇部お助け講座（中学生対象） 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	平塚市立江陽中学校		120人
1月29日(日)	演劇部お助け講座（高校生対象） 講師：特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	新名学園旭丘高等学校	高等学校の演劇部	18人

実施日	内容　・　講師等	場　所	対　象	参加者数
３月19日(日)	演劇部お助け講座（高校生対象） 講師:特定非営利活動法人演劇百貨店所属講師	神奈川大学附属中・高等学校		20人

b　青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス

地域や時代のニーズに合せた先端的なプログラムをアウトリーチとインリーチで実施した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
７月20日(水)	【映像編】 講師：高橋　啓祐 （映像作家、ダンスカンパニー・ニブロール所属） 会場：青少年センタースタジオHIKARI	高校生・顧問	６人
３月29日(水) 30日(木)	【ダンス編】 講師：平原慎太郎 （ダンサー、振付家、ダンスカンパニーOrganWorks主宰） 会場：相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）リハーサル室	高校生・大学生	33人
３月27日(月) 28日(火)	【舞台美術編】 講師：伊藤雅子（舞台美術家） 会場：横浜市教育会館４階ホール（エコーレ）	中学生・高校生	10人

c　ダンスの心技体＋創

ストリートダンスに取り組む高校生向けにジャズのワークショップを実施した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
３月18日(土) 19日(日)	講師：Akiko、永井直也、Jumi Lite、Yamato、Angelo、GEN ROC、Yoshiki、Reny Ren 会場：海老名市門沢橋コミュニティーセンターレクリエーション室 参加校：６校	高校生	20人

(ｴ) 舞台芸術を活用した青少年活動支援事業

舞台芸術の創作を通じ、青少年の自己表現やコミュニケーション力、他者との協調性を伸ばすためのワークショップを実施した。

実施日	内容　・　講師等	対　象	参加者数
３月４日(土)	「親子で楽しむ伝統芸能！乙女文楽と義太夫節」 ・乙女文楽ミニ公演 ・ワークショップ ①人形操作、②義太夫節、③三味線演奏 会場：青少年センタースタジオ HIKARI、ホール楽屋７	青少年、一般	53人

エ　マグネット・カルチャー推進事業

「若者がいつでも、自らの才能を発揮でき、有能な人材を発掘できる場」として、若者文化の開放区をめざすための事業を実施した。

(7) マグカルシアター

a　青少年のための芝居塾

月　日	ジャンル	出演団体	演　目	公演(練習)回数	観客(参加者)数
8月7日(月)～14日(日)	演劇	青少年のための芝居塾塾生ほか	「ギンテツ」	中止	

b　マグカルシアター

月　日	ジャンル	出演団体	演　目	公演数	観客数
4月11日(月)～17日(日)	演劇	貘の見た夢	「逝命」	中止	
4月22日(金)～4月24日(日)	ダンス	オドリバ	「ライスボールダンスクラブ」	5回	201人
4月28日(木)～5月1日(日)	演劇	かながわネクスト（theater 045 syndicate)	「フェアウェル、ミスター・チャーリー」	6回	274人
5月5日(木)～8日(日)	演劇	かながわネクスト（演劇プロデュース『螺旋階段』）	「静寂に火を灯す」	6回	329人
5月14日(土)～15日(日)	大道芸	Sofairlo合同会社	「Sofairlo 3DAYS LIVE」	6回	116人
5月21日(土)～22日(日)	演劇	劇団麦の会	「うらぼんえ」	3回	186人
5月28日(土)～29日(日)	演劇	ケーキを海底のポストへ投函	「BANANA SHOOTER」	4回	151人
6月3日(金)～5日(日)	ダンス	GAMAMA	「WINGY」	4回	249人
6月17日(金)～19日(日)	演劇	エコロク	「第一回公演「旗をあげる」」	5回	236人
6月24日(金)～26日(日)	演劇	劇団かに座	「マンションレデラ」	4回	256人
6月28日(火)～7月3日(日)	演劇	完全右脳アルコロジー	未定	辞退	
7月7日(木)～10日(日)	演劇	ルサンチカ	「GOOD　WAR」	5回	144人
7月13日(水)～18日(月)	演劇	夜となく	未定	中止	

月　日	ジャンル	出演団体	演　目	公演数	観客数
７月27日(水) ～31日(日)	演劇	演劇企画集団Y３	「ひるの話、夜の話」	10回	187人
８月16日(火) ～21日(日)	演劇	趣向	未定	辞退	
８月23日(火) ～28日(日)	演劇	劇団820製作所	「なぜけもののわかさはにがいのか」	中止	
８月30日(火) ～９月２日(金)	演劇	TeXi's（てぃっしゅ）	「未定」	中止	
９月18日(日) ～19日(月) ９月21日(水) ～23日(金)	演劇	乙戯社	「かつて生命があったという惑星に向かって僕らは、」	８回	175人
10月７日(金) ～10日(月)	演劇	劇団スクランブル	「How to stop falling in love」	６回	260人
10月27日(木) ～30日(日)	演劇	チリアクターズ	「どんな顔すればいいの@焼跡」	６回	179人
11月５日(土) ～６日(日)	演劇	TEAM IMITATION	「Halloween special mar if」	３回	77人
11月9日(水) ～13日(日)	演劇	劇団天の河神社	未定	辞退	
11月29日(火) ～12月４日(日)	演劇	YOKOHAMA NEW CLASSIC	未定	辞退	
12月15日(木) ～18日(日)	演劇	OKAMI企画	「ヨコハマ学生演劇フェス'22 -U-25 in YOKOHAMA-」	３回	130人
12月21日(水) ～25日(日)	演劇	虹の素	「失恋博物館VII」	21回	755人
１月11日(水) ～15日(日)	演劇	劇団砂からマカロン	「こんなシェアハウスはいかがですか？～安形賢の混沌～」	辞退	
２月23日(木) ～26日(日)	演劇	安住の地	「『異郷を羽織る - Drape the Strange Land -』」	８回	275人
３月10日(金) ～12日(日)	演劇	M2	「M2vol.3『鉄音、轟音。』」	４回	203人

c　マグカル・ハイスクール演劇フェスタ

実施日	ジャンル	出演団体	出演校 (団体)数	観客数
３月23日(木) ～31日(金)	高校演劇	横浜市高等学校春季演劇発表会	30校(団体)	1,134人

オ　青少年舞台芸術活動推進事業（機能強化）

舞台づくり機会の充実を図るため、青少年センターの施設機能を活かした「マグカルシアター」の出演団体への支援事業を行うとともに、青少年に優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供した。

(ｱ) マグカルマグネット・カルチャー推進強化事業

a　マグカル劇場出演団体等の上演作品制作支援事業

実施日	内　容　等	支援内容	累計
通年	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図る。	研修室の稽古場利用団体数及び利用人数	99団体 1,015人
		演劇資料室の夜間利用者数	425人

b　ステップアップ公演事業（会場：スタジオHIKARI）

実施日	内　容　等	演　目	観客数
8月23日（火）～28日（日）	マグカルシアター上演団体に代表される若手の舞台芸術団体のうち、将来的に鑑賞事業としてのクオリティに耐えられる作品を制作するステップアップのための公演の機会を提供するとともに、青少年が優れた舞台芸術作品に触れる機会を提供する。	820製作所 「なぜけもののわかさはにがいのか」	出演者の新型コロナ感染により中止

カ　伝統芸能等普及振興事業

我が国を代表する古典芸能や、地域で継承されている民俗芸能等を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への気運を醸成するため、多彩な伝統芸能の上演を行った。

(ｱ)　かながわ伝統芸能祭

a　歌舞伎鑑賞教室

実施日	内　容　等	対　象	観客数
6月25日(土) 26日(日) 計２回公演	演目：解説「歌舞伎のみかた」 彦山権現誓助剣　－毛谷村－ 出演者：中村　又五郎、片岡　孝太郎ほか 会場　：藤沢市民会館大ホール	青少年、一般	703人

b　人形浄瑠璃文楽

実施日	内　容　等	対　象	観客数
10月15日(土) 計２回公演	演目： 【昼の部】 解説（あらすじ） 花競四季寿より「万歳・鷺娘」／ 「冥途の飛脚」羽織落としの段／封印切の段 【夜の部】 解説（あらすじ） 「団子売」、「菅原伝授手習鑑」寺入りの段／寺子屋の段 会場：ひらしん平塚文化芸術ホール大ホール	青少年、 一般	652人

c　かながわ伝統文化こども歳時記

実施日	出演団体等	対　象	観客数
メインプログラム ２月23日 （木・祝） 事前ワークショップ １月21日(土) 22日(日) 29日(日) ２月19日(日)	【ホール公演】 ① よみがえる曽我兄弟（相模人形芝居下中座、入谷歌舞伎会、解説：小田原市学芸員） ② 発見、体験！ニッポンの伝統芸能～曽我兄弟バージョン～（泉秀樹、泉徳保、宝井琴鶴、伝統芸能WS受講生） ③ かながわの盆踊りのルーツ～注目！相模ささら踊り！（足柄ささら踊保存会、チャイロイプリン） 【事前ワークショップ】 ① 発見、体験！ニッポンの伝統芸能」（講談・日本舞踊） ② 電子工作で自由に光る！“テンアゲ小田原ちょうちん”を作ろう！ ③ かながわの郷土玩具「片瀬こま」で遊ぼう！ ④ 紙芝居で楽しくまなぶ、かながわの民話 【体験コーナー】 ① 「片瀬こま」の体験（片瀬こま保存会） ② かながわの民話を紙芝居で紹介(紙芝居文化推進協議会) 会場：小田原三の丸ホール（大ホール、小ホール、スタジオ)	子ども、 青少年、 一般	延　909人